

第18回 運輸政策研究所研究報告会

世代による国内観光行動の変化に着目した
今後の観光施策の検討

A Study on Tourism Policies
Based on Domestic Tourist Behavior by Generation



(財)運輸政策研究機構 運輸政策研究所 研究員
Institute for Transport Policy Studies, Researcher

日比野 直彦

Dr. HIBINO, Naohiko

報告内容

1. 背景と目的
2. 1970年以降の観光動向
3. 世代による観光行動の特徴
4. まとめ

1. 背景と目的

2. 1970年以降の観光動向

3. 世代による観光行動の特徴

4. まとめ

背景

余暇機会の増加

- ・ ハッピーマンデー法の施行
- ・ 学校完全週休2日制の導入
- ・ 「秋休み」キャンペーン etc.



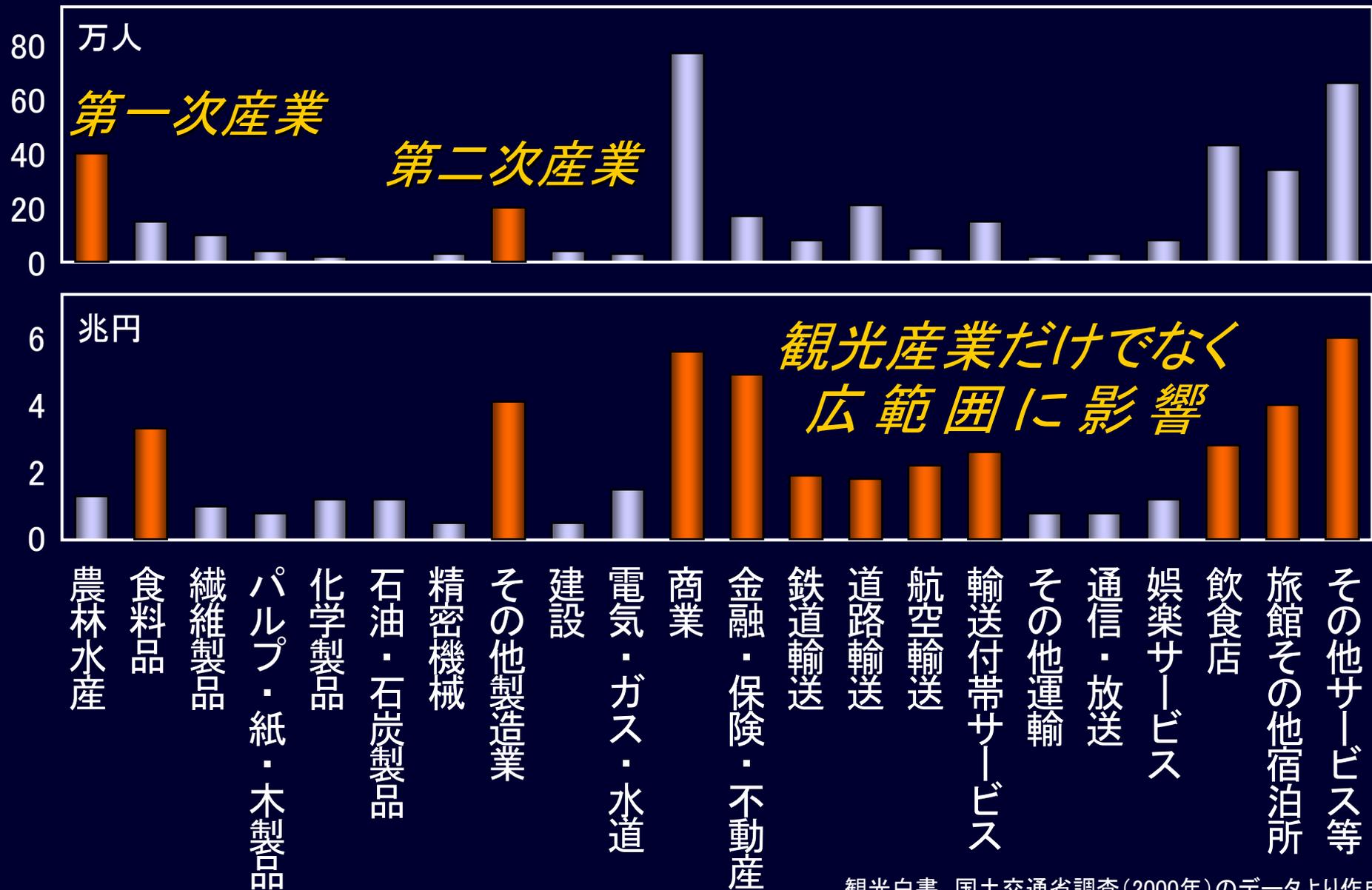
活き活きとした地域づくり

日本の魅力・地域の魅力の確立，一地域一観光

持続可能な地域整備

行政，住民，企業，NPO等の積極的な取り組み

観光消費による他産業への波及効果 (推計)



観光白書, 国土交通省調査(2000年)のデータより作成

観光消費の我が国経済への貢献 (推計)

観光消費

経済効果

雇用創出

181 万人

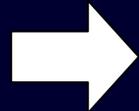


393 万人

(総雇用 約6,661万人の 5.9 %)

売上高

20.6 兆円



48.8 兆円

(国内生産額 約906兆円の 5.4 %)

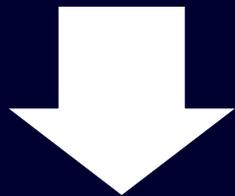
出典) 観光白書, 国土交通省調査(2000年)

観光地の現状

観光地

来訪, 食事, 宿泊, お土産, ...

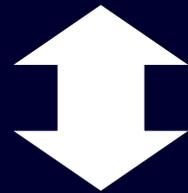
宿泊観光旅行者増加に向けた取り組み



成功している観光地と
効果をあげられていない観光地に**二極化**

観光旅行者数に影響を与えるもの

- 地方自治体の取り組み
- 交通サービスの発展
- 各種キャンペーン
- テレビ報道
- ポスター etc.



観光旅行者の志向，行動は、
属性（性別，年齢，世代等）によって様々
観光旅行者の増加に向けて…

→ **観光旅行者の属性毎の行動**を把握

世代の特徴

同じ年齢であったとしても、
「10年前の60歳代」「今の60歳代」
「10年後の60歳代」の観光行動は異なる!?



今後の観光施策を検討する上で、
今までの高齢者と団塊の世代の違いを
明らかにすることは重要

世代の特徴に着目!

目的

観光地の個別具体的な議論の前に

- 短期的な マーケティング分析
- 長期的な 時系列分析

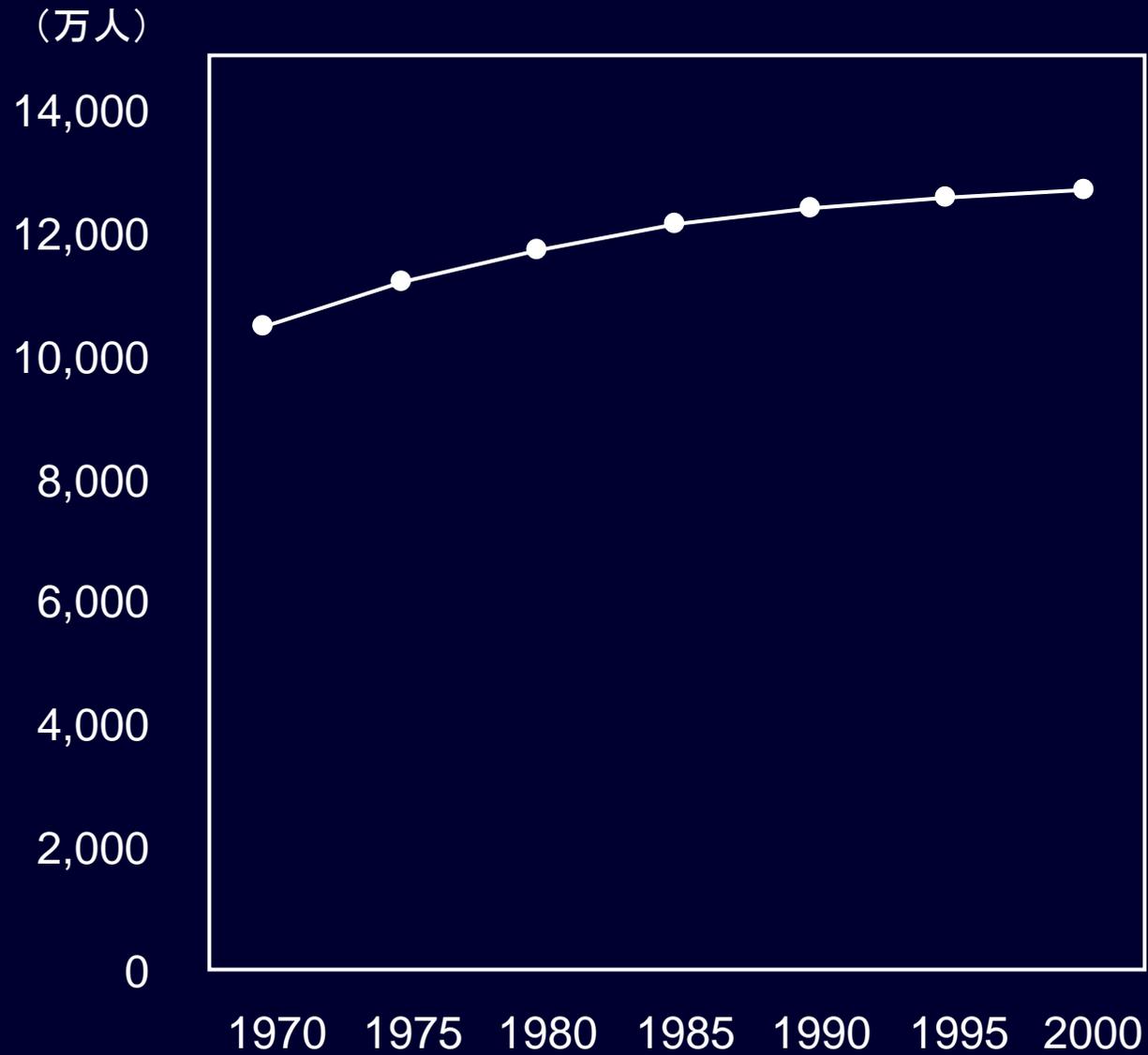
既存の統計データを使用した時系列分析

高齢時代の観光施策の検討に向けて、
観光行動の時系列変化を把握するとともに、
各世代の特徴を整理することを目的

地方自治体等が観光施策を検討する際の
一助となるための基礎的な研究

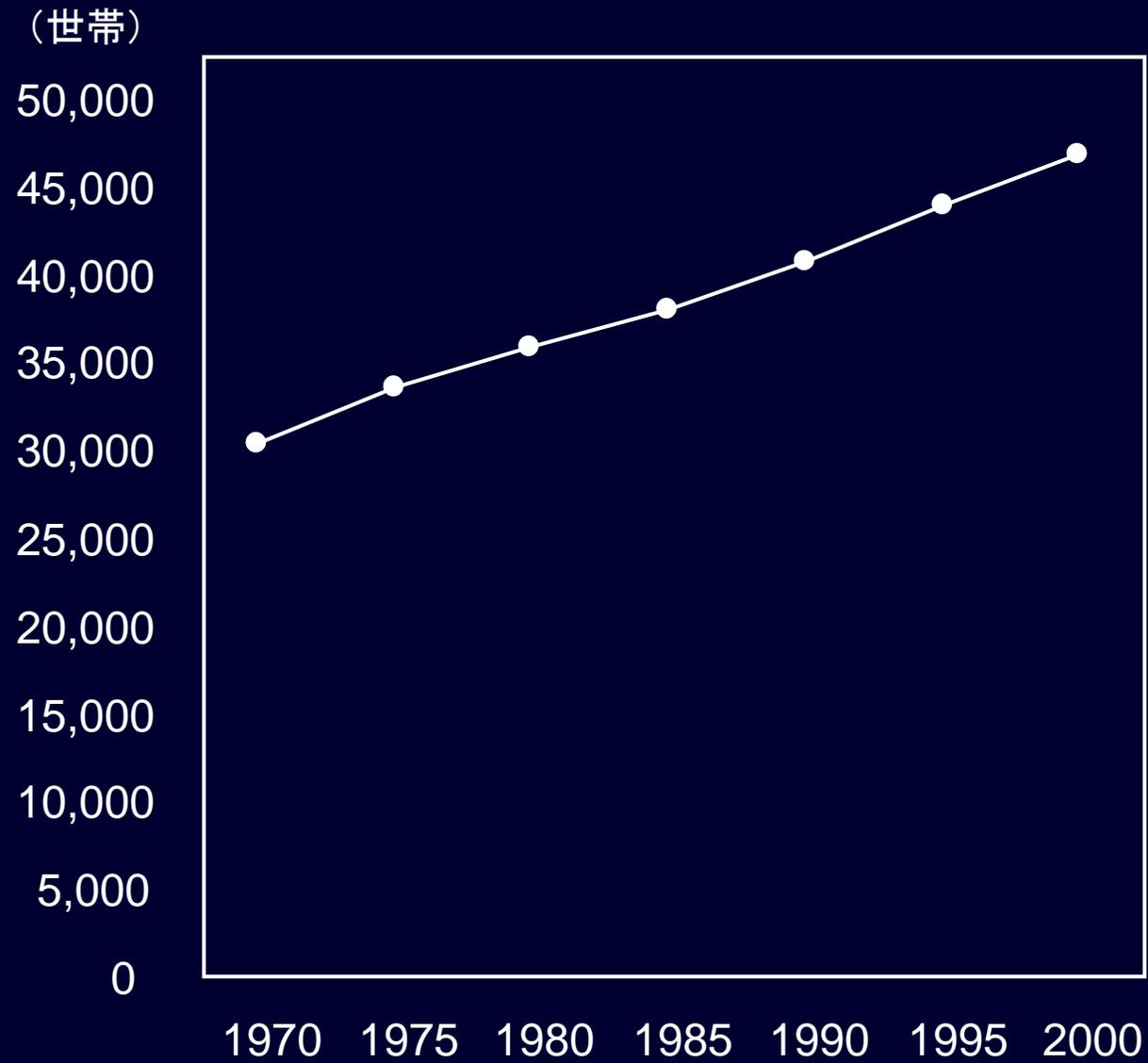
1. 背景と目的
2. 1970年以降の観光動向
3. 世代による観光行動の特徴
4. まとめ

総人口



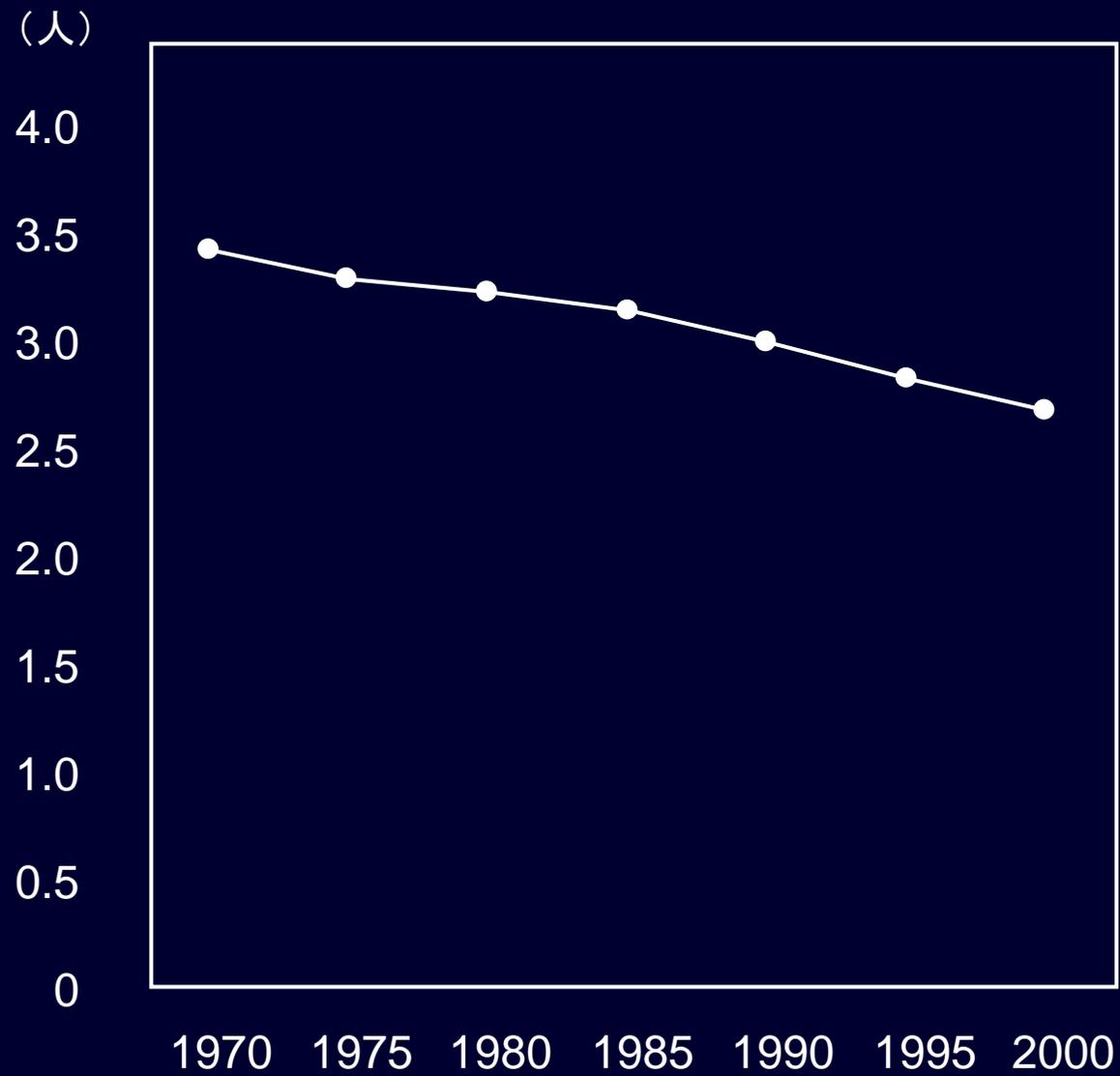
総務省「国勢調査」より作成

一般世帯数



総務省「国勢調査」より作成

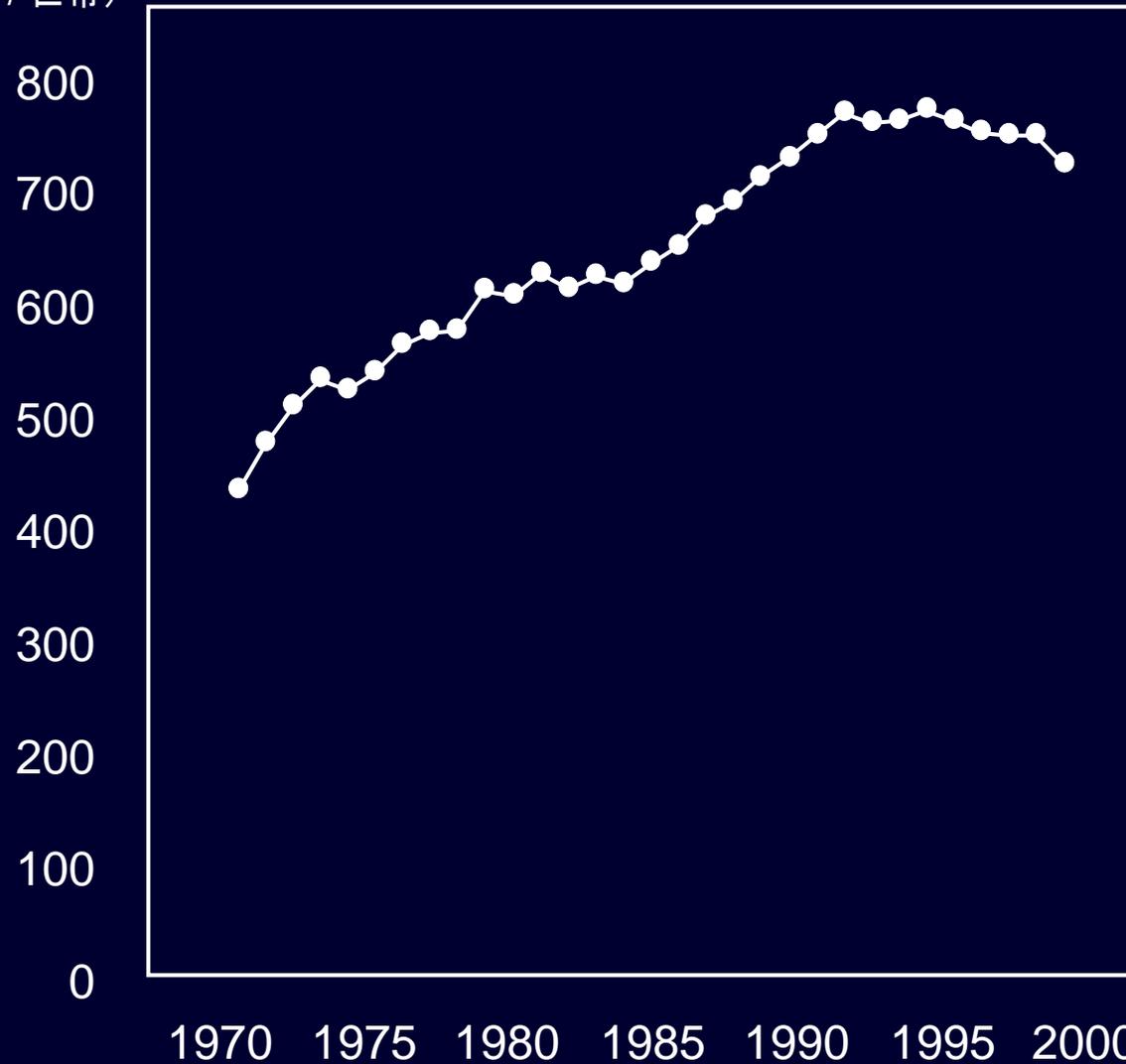
一般世帯人員



総務省「国勢調査」より作成

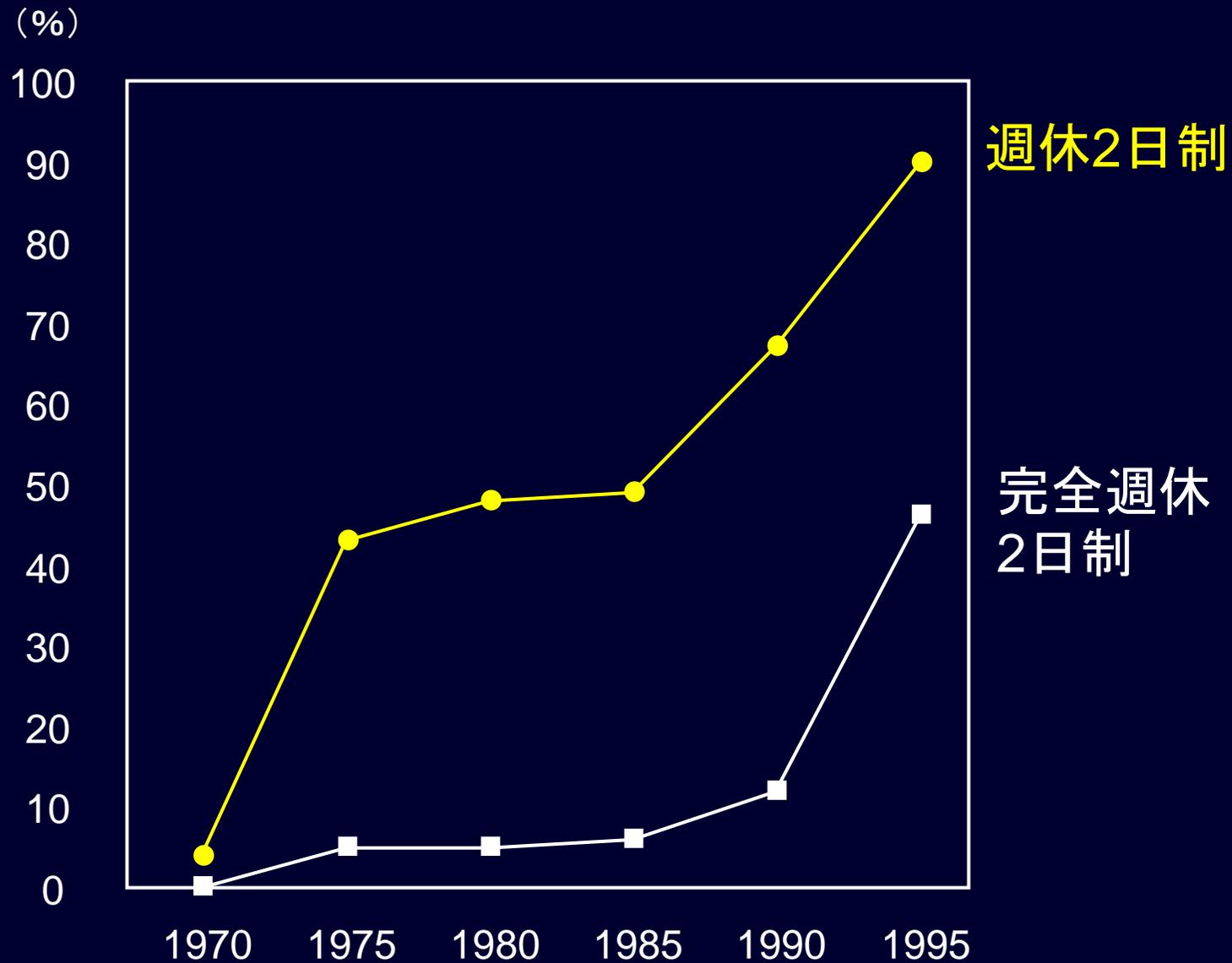
年間収入(2000年)

(万円(2000年) / 世帯)



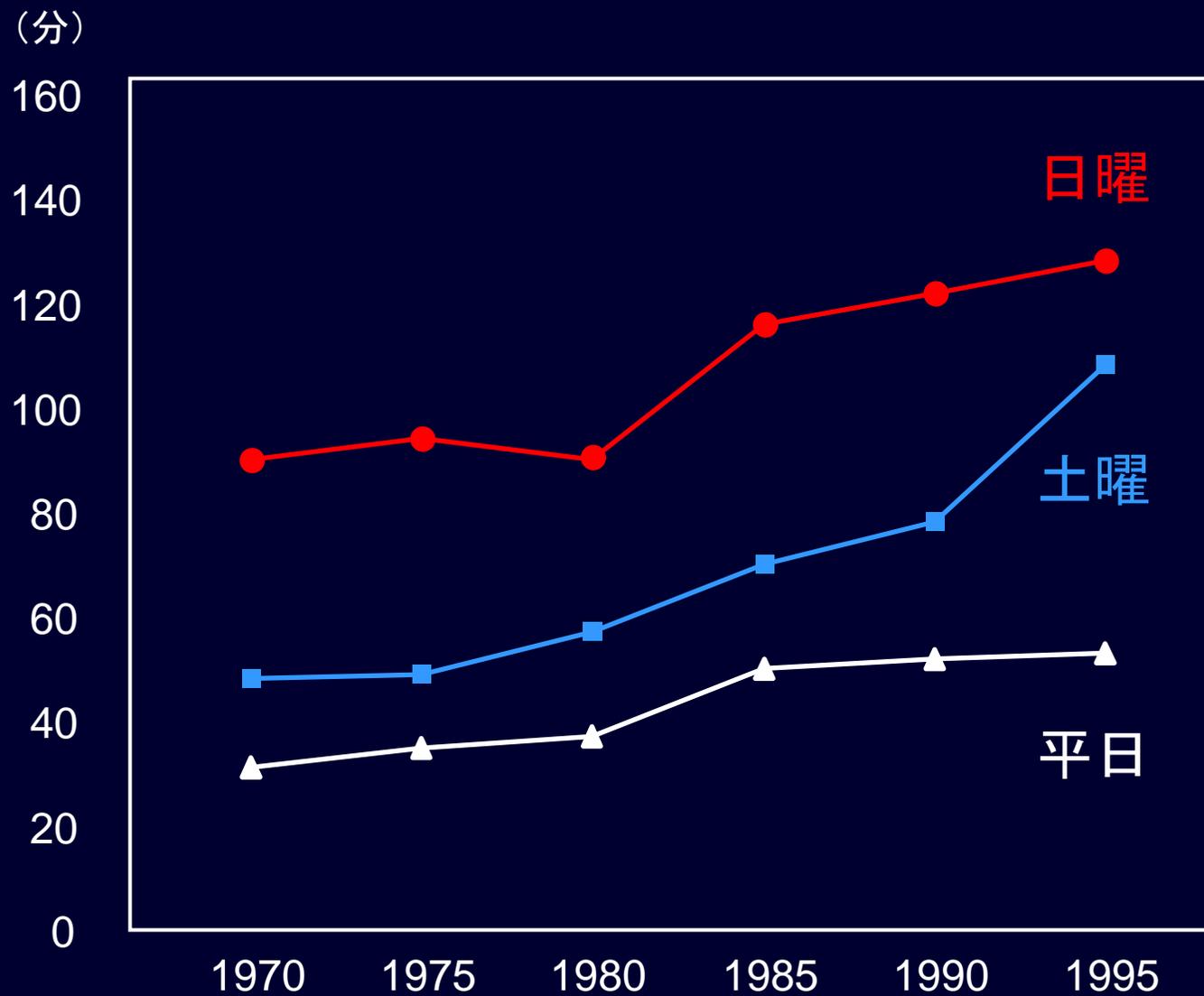
総務省「貯蓄動向調査」より作成

週休2日制採用企業の割合



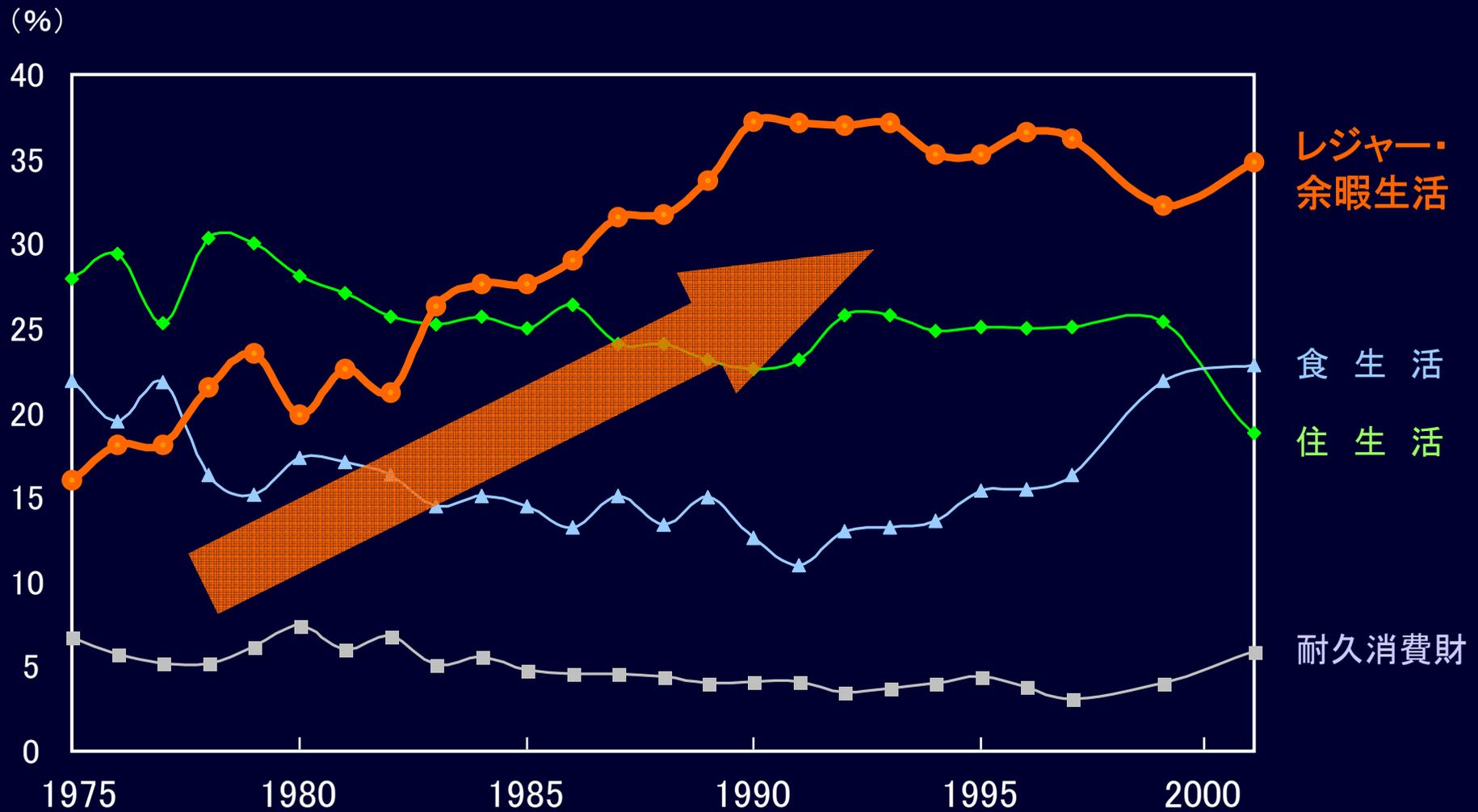
労働省「賃金労働時間制度等総合調査」より作成

レジャー活動時間



NHK放送文化研究所「国民生活時間調査」より作成

今後の生活の力点の推移



内閣府大臣官房政府広報室「国民生活に関する世論調査」(14年6月)より作成

- ・ 総人口の増加
- ・ 世帯数の増加
- ・ 世帯人員の減少
- ・ 年間収入の増加
- ・ 週休2日制採用企業の増加
- ・ レジャー 活動時間の増加
- ・ 生活の力点の変化

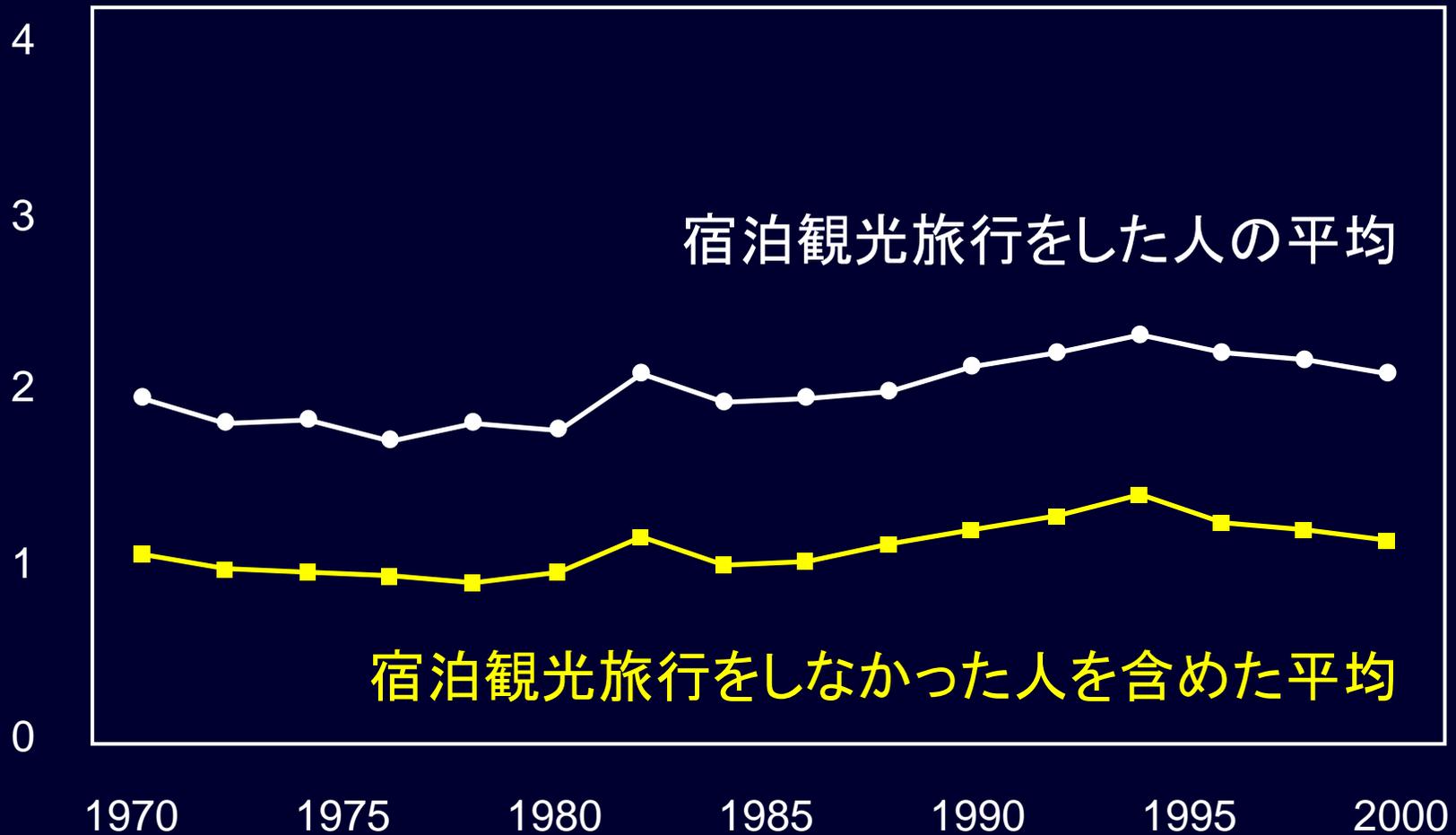


宿泊観光旅行の増加



宿泊観光旅行の参加回数の推移

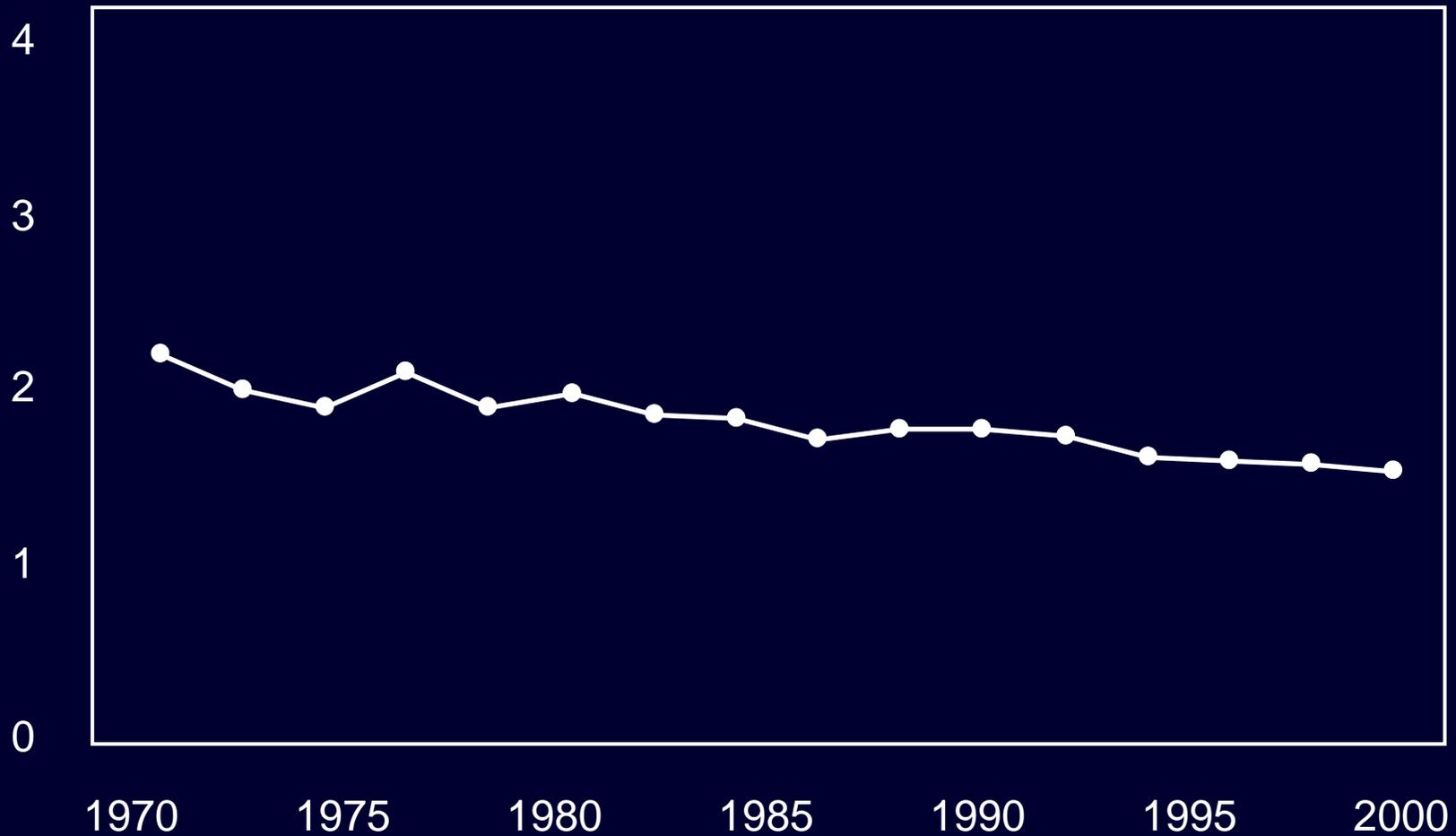
(回 / 年)



社団法人 日本観光協会「国民の観光に関する動向調査」より作成

宿泊観光旅行の宿泊数の推移

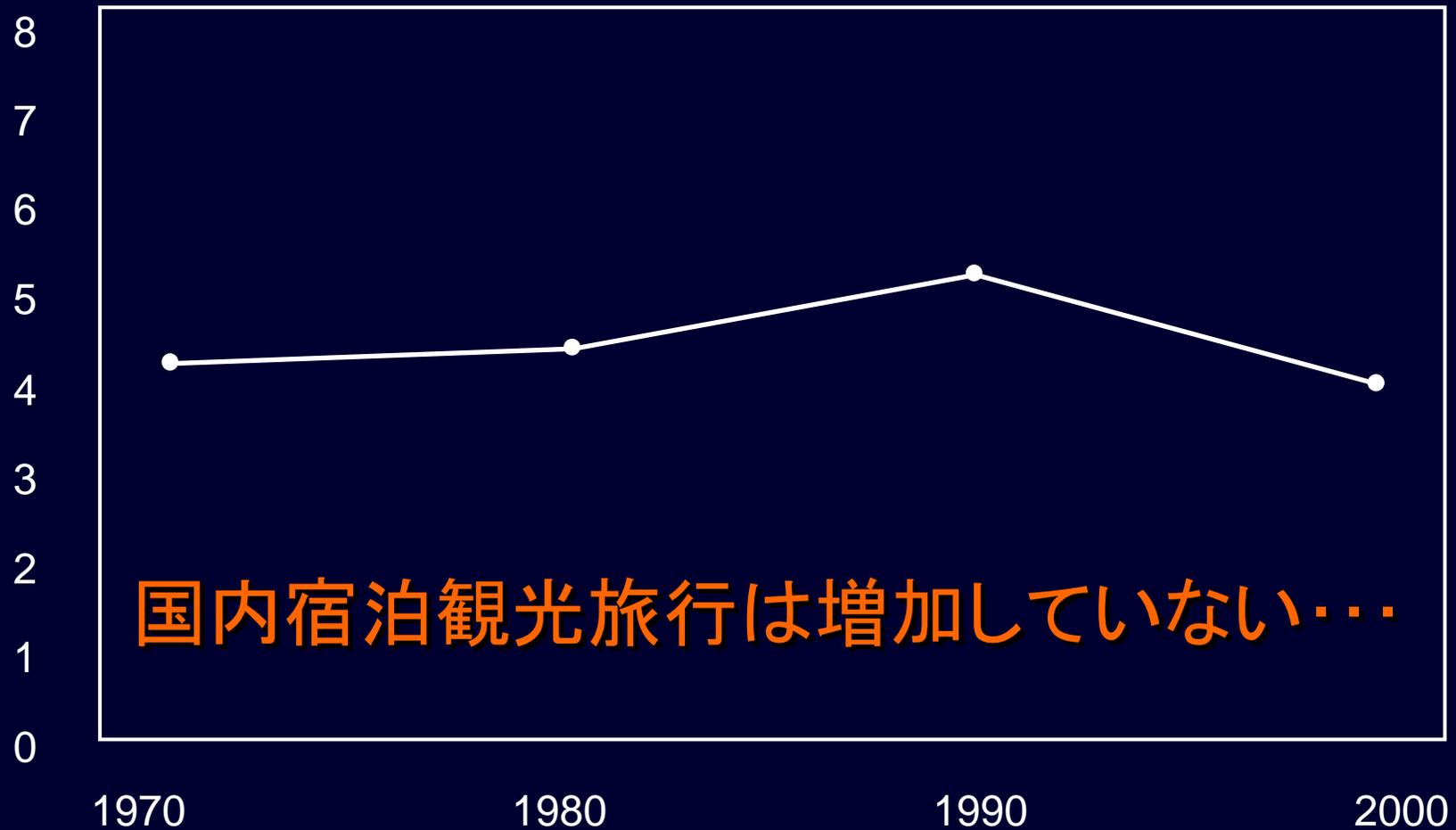
(泊 / 年)



社団法人 日本観光協会「国民の観光に関する動向調査」より作成

宿泊観光旅行の費用総額の推移

(万円 / 人・年 (2000年))



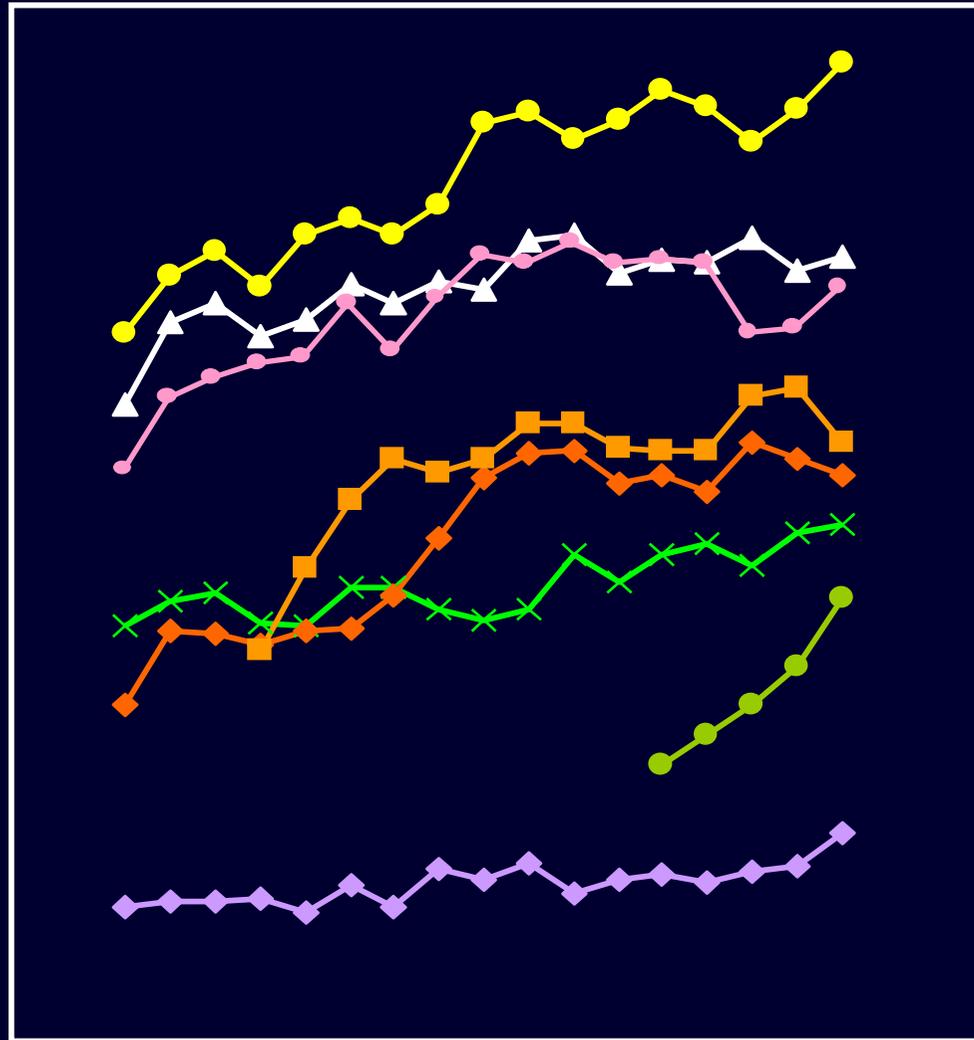
国内宿泊観光旅行は増加していない...

社団法人 日本観光協会「国民の観光に関する動向調査」より作成

余暇時間使用項目別の参加者数の推移

(万人/年)

8,000
7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0



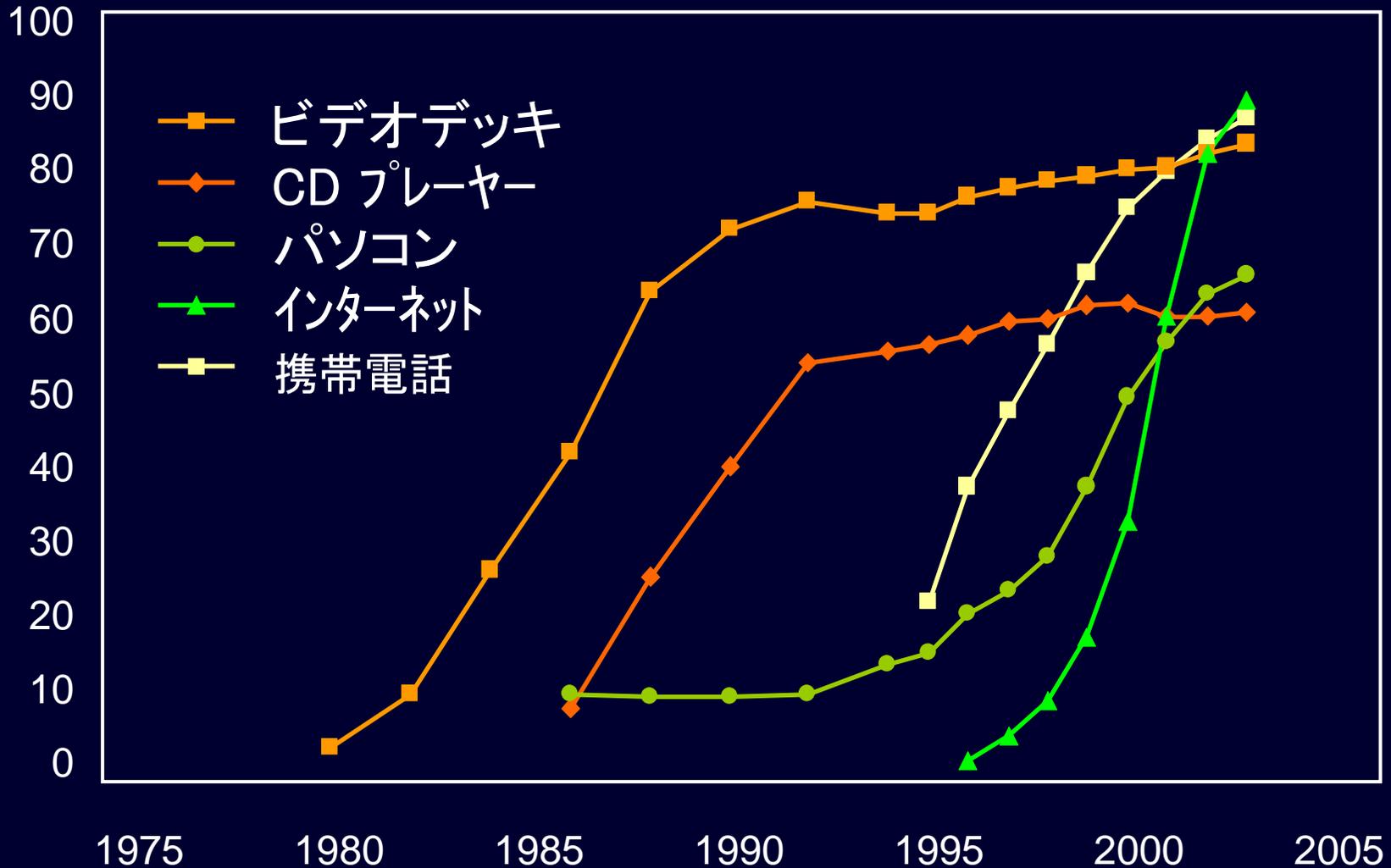
- 外食
- 国内観光旅行
- ▲ ドライブ
- ビデオ鑑賞
- ◆ 音楽鑑賞
- × 園芸・庭いじり
- パソコン
- ◆ トレーニング

財団法人 余暇開発センター「余暇活動に関する調査」より作成

(C) Dr. Naohiko HIBINO, Institute for Transport Policy Studies, 2005

普及率(世帯)の推移

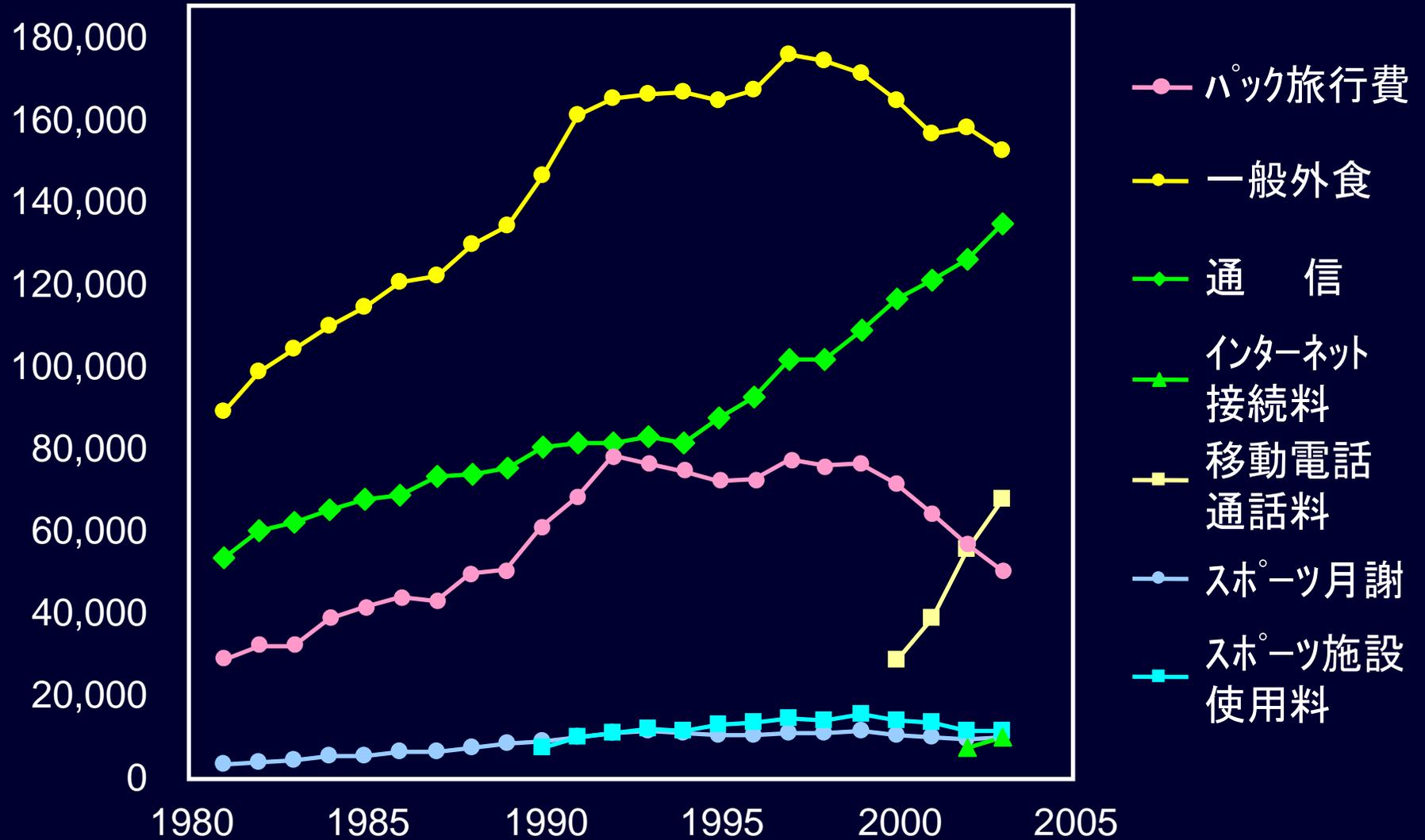
(%)



内閣府「消費者動向調査年報」より作成

1世帯当たり年間品目別支出金額の推移

(円 / 世帯・年 (2000年))

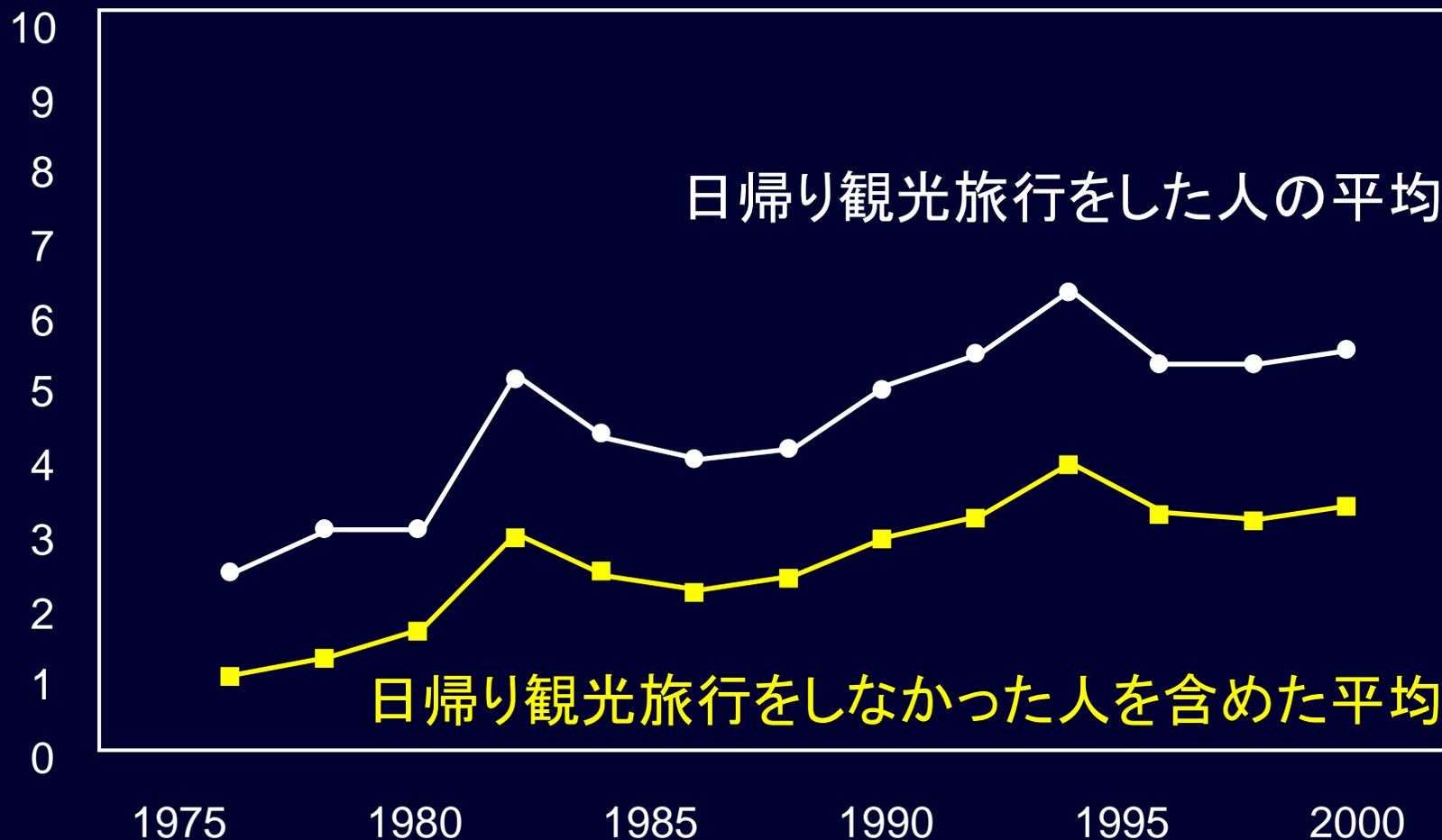


総務省「家計調査年報」より作成

(C) Dr. Naohiko HIBINO, Institute for Transport Policy Studies, 2005

日帰り観光旅行の参加回数の推移

(回 / 年)



社団法人 日本観光協会「国民の観光に関する動向調査」より作成

日本人海外旅行者数の推移

(人/年)

20,000

18,000

16,000

14,000

12,000

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

長期の休暇は
海外旅行に！



1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000

法務省「出入国管理統計年報」より作成

観光交通機関分担

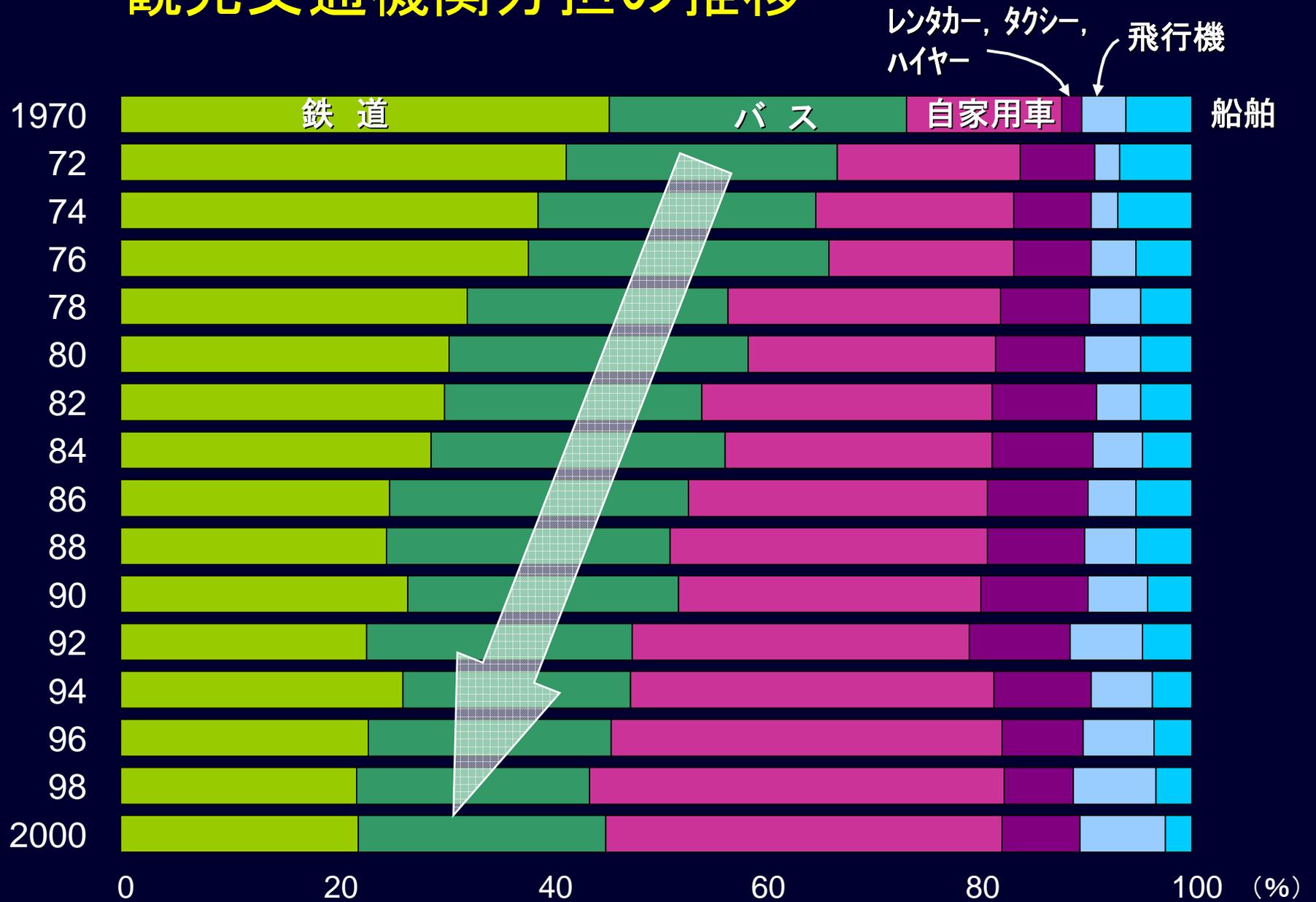
宿泊観光旅行に利用した交通機関



- 鉄道 (JR(国鉄), 私鉄, 地下鉄)
- バス (貸切バス, 路線バス)
- 自家用車 ■ レンタカー, タクシー, ハイヤー
- 飛行機 ■ 船舶



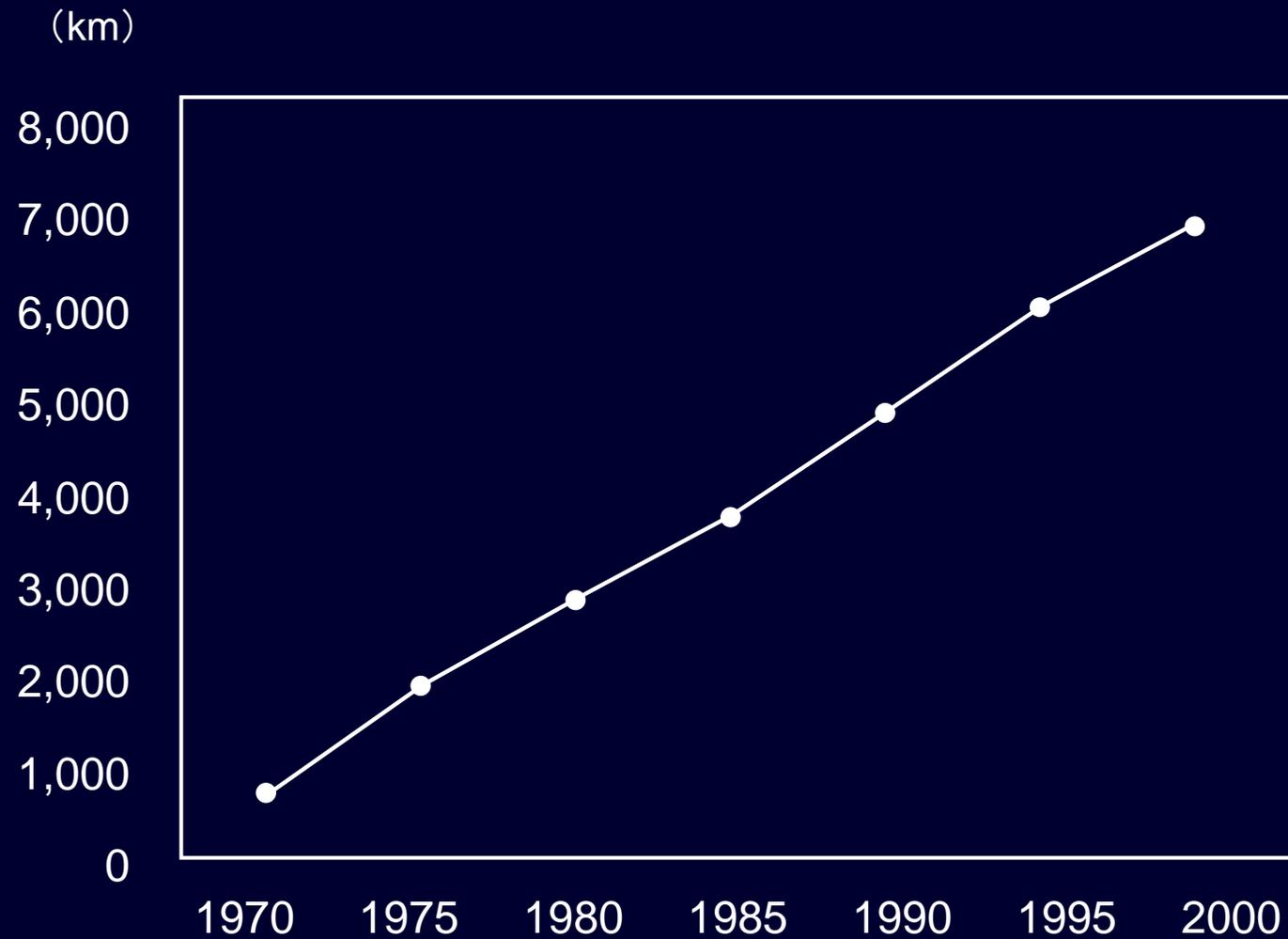
観光交通機関分担の推移



観光交通機関分担率変化の特徴

- 鉄道は、40%強から20%強と30年間で約半分
- 自家用車は、20%弱から40%と2倍以上
- バスは、10%減
- 飛行機、船舶は、あわせて10%程度で安定

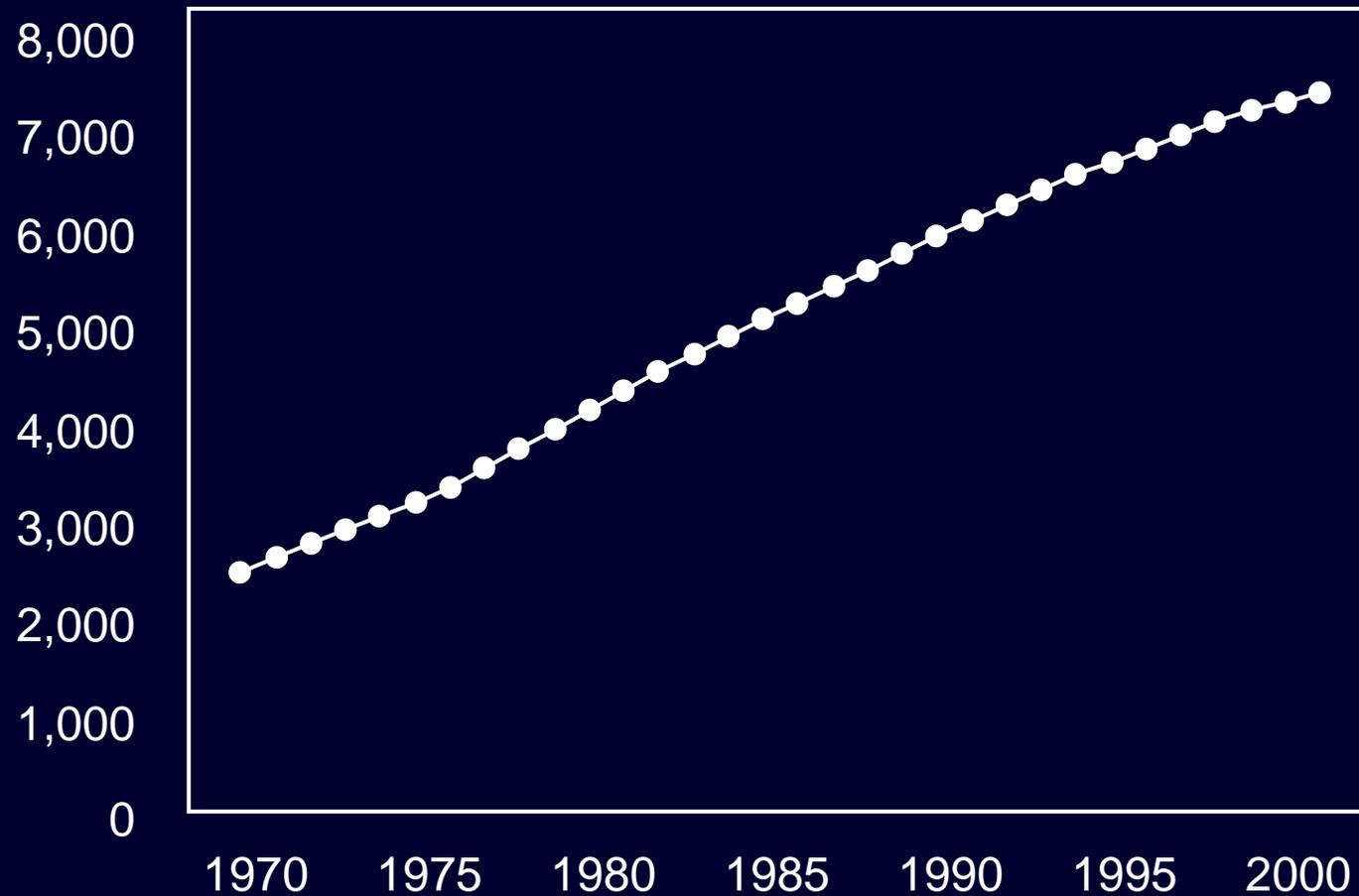
高速道路延長



「道路統計年報」より作成

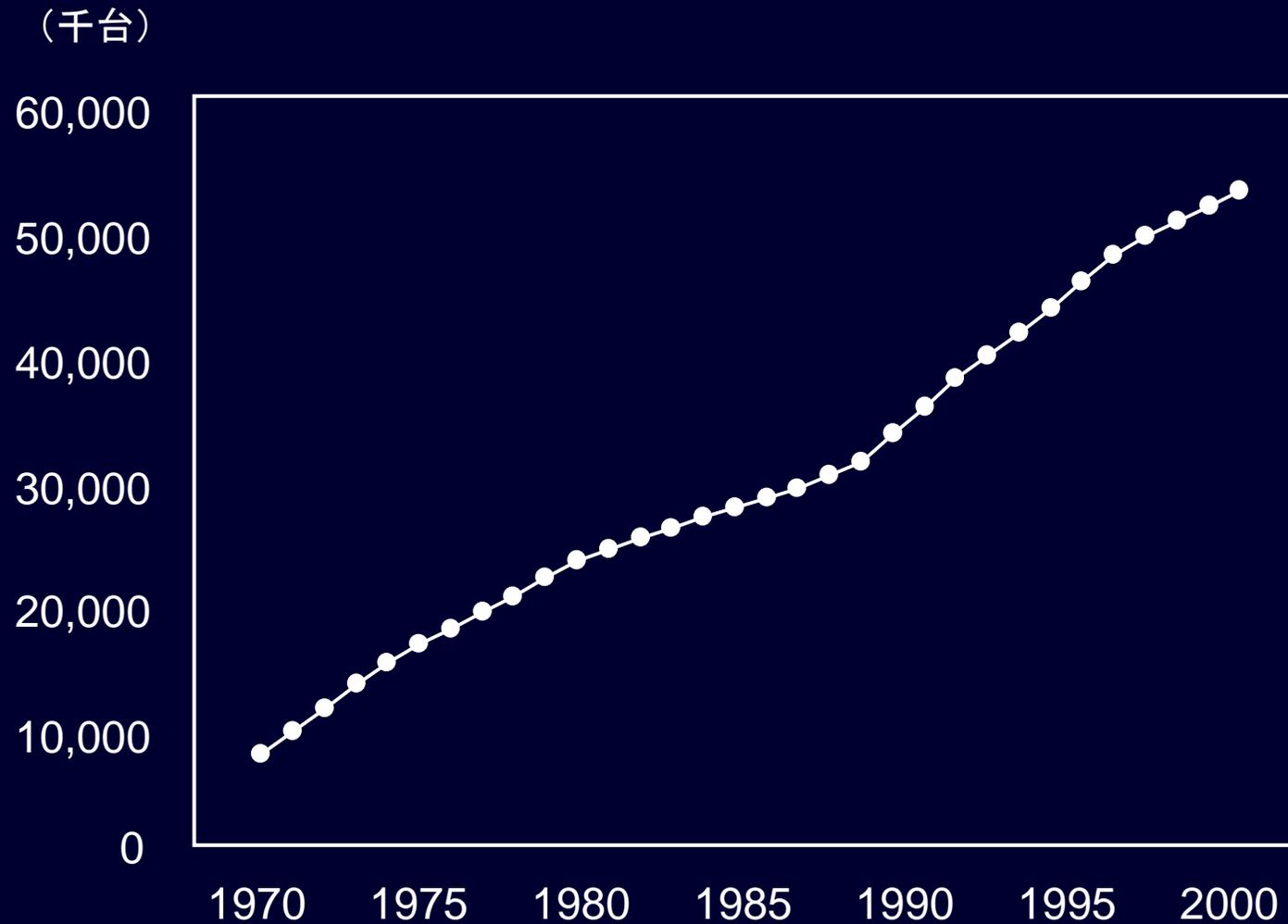
運転免許保有者数

(万人)



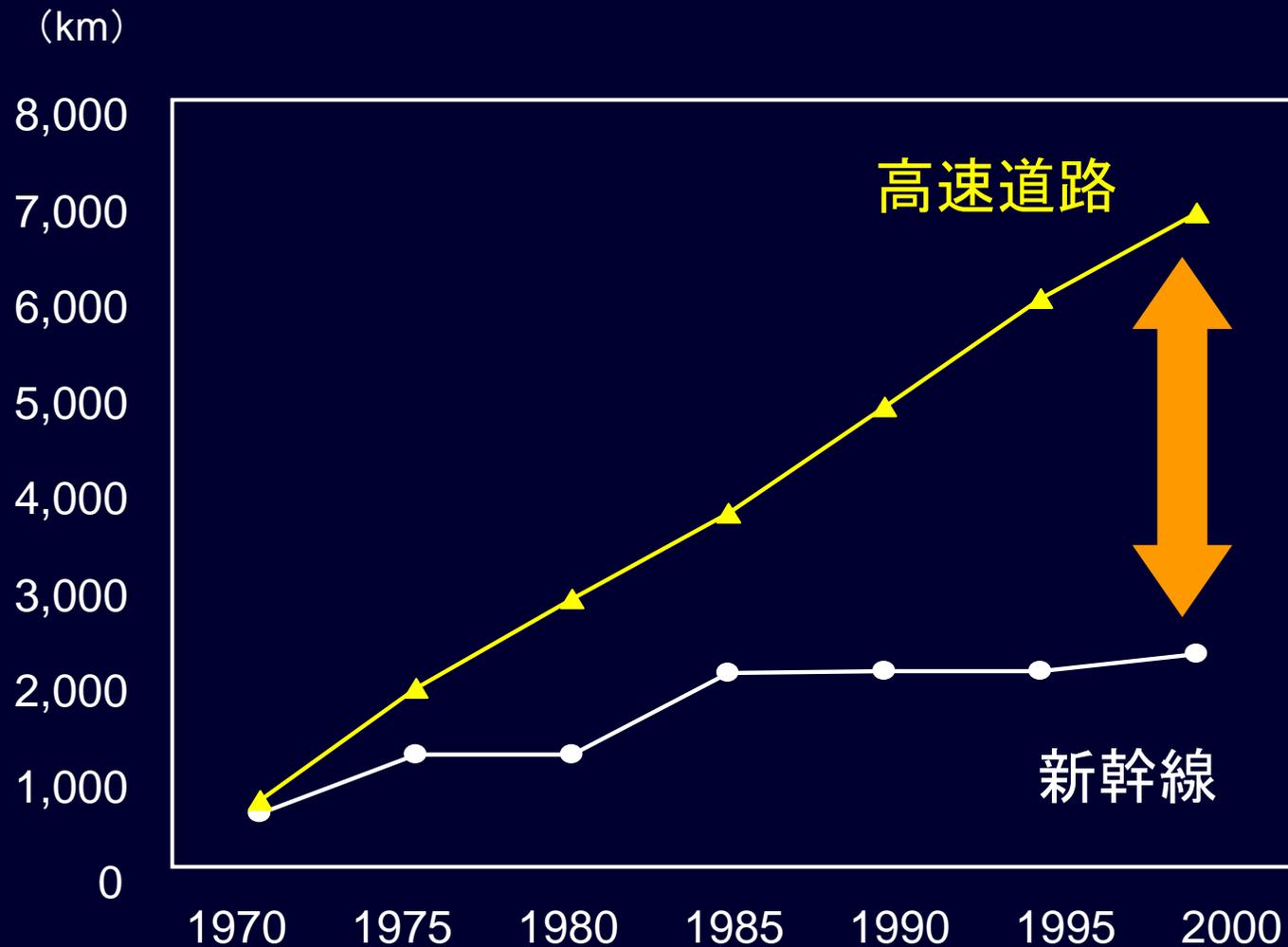
警察庁「運転免許統計」より作成

自家用車保有台数



国土交通省「自動車保有車両数統計書」より作成

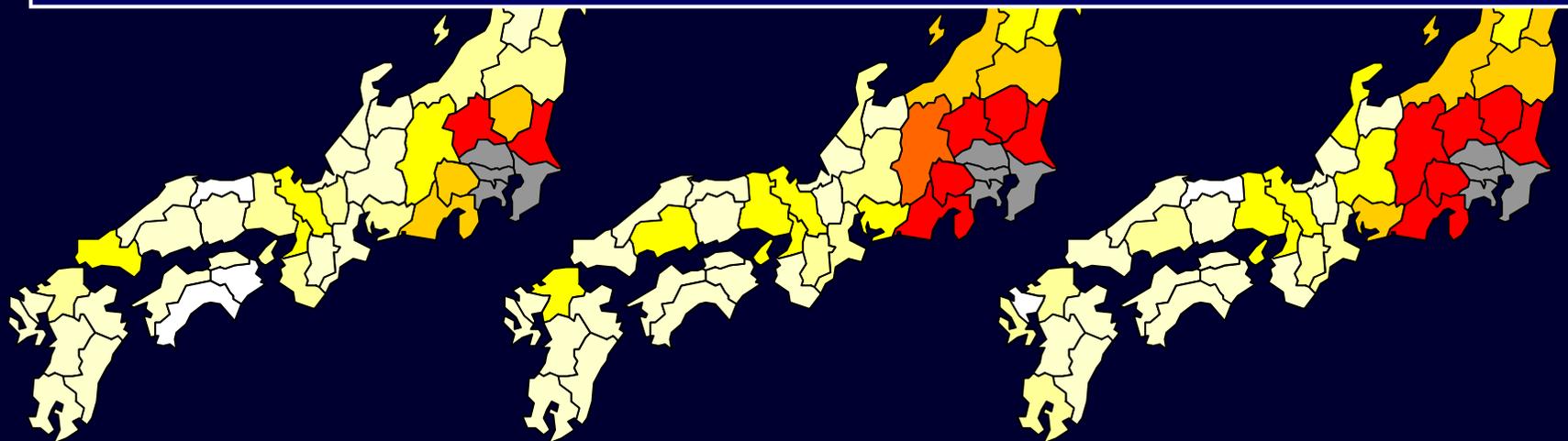
新幹線営業キロ



「数字でみる鉄道」, 「道路統計年報」より作成

首都圏発の観光旅行者数の推移

- 移動範囲が広がっている
(東北方面・長野方面が増加)
- 近い場所(関東甲信越)が著しく増加



国土交通省「全国幹線旅客純流動調査」より作成

目的地地域別観光交通機関分担

- **安い費用**, **近い場所**, **短い期間**の旅行を**自動車**で!
- 増加した時間, 収入は、**違う目的**に使用
- 長期の休みは、**海外旅行**へ



国土交通省「全国幹線旅客純流動調査」より作成

1. 背景と目的
2. 1970年以降の観光動向
3. 世代による観光行動の特徴
4. まとめ

分析の焦点

全体傾向とは異なる特徴的な観光行動



「世代」の特徴に焦点をあてた時系列分析



団塊の世代の観光行動の特徴を整理

国民の観光に関する動向調査

社団法人 日本観光協会が調査し、
「観光の実態と志向」として出版

本分析では、1970, 1980, 1990,
2000年の調査結果を使用

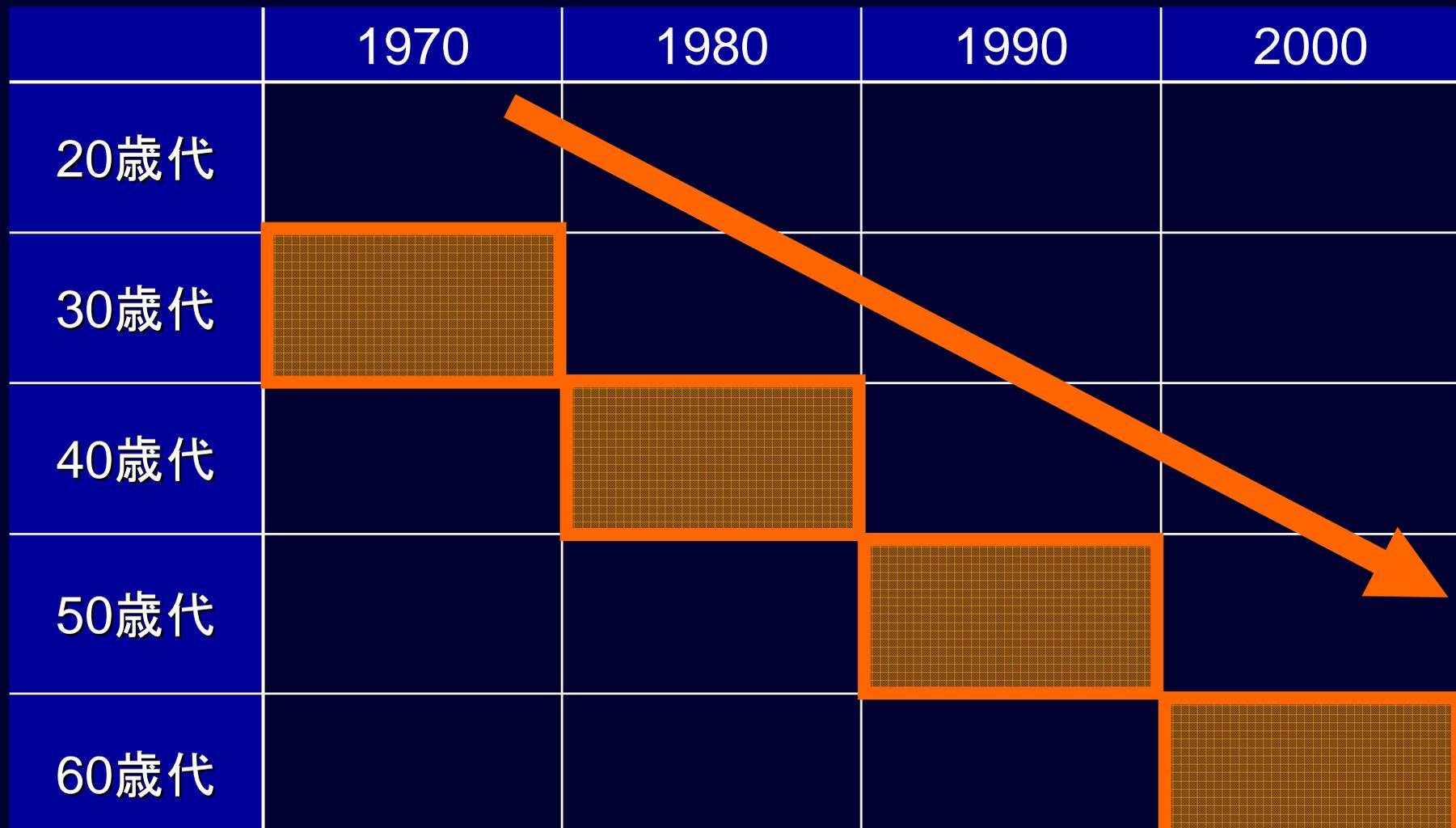
余暇活動に関する調査

財団法人 余暇開発センターが調査し、
「レジャー白書」として出版

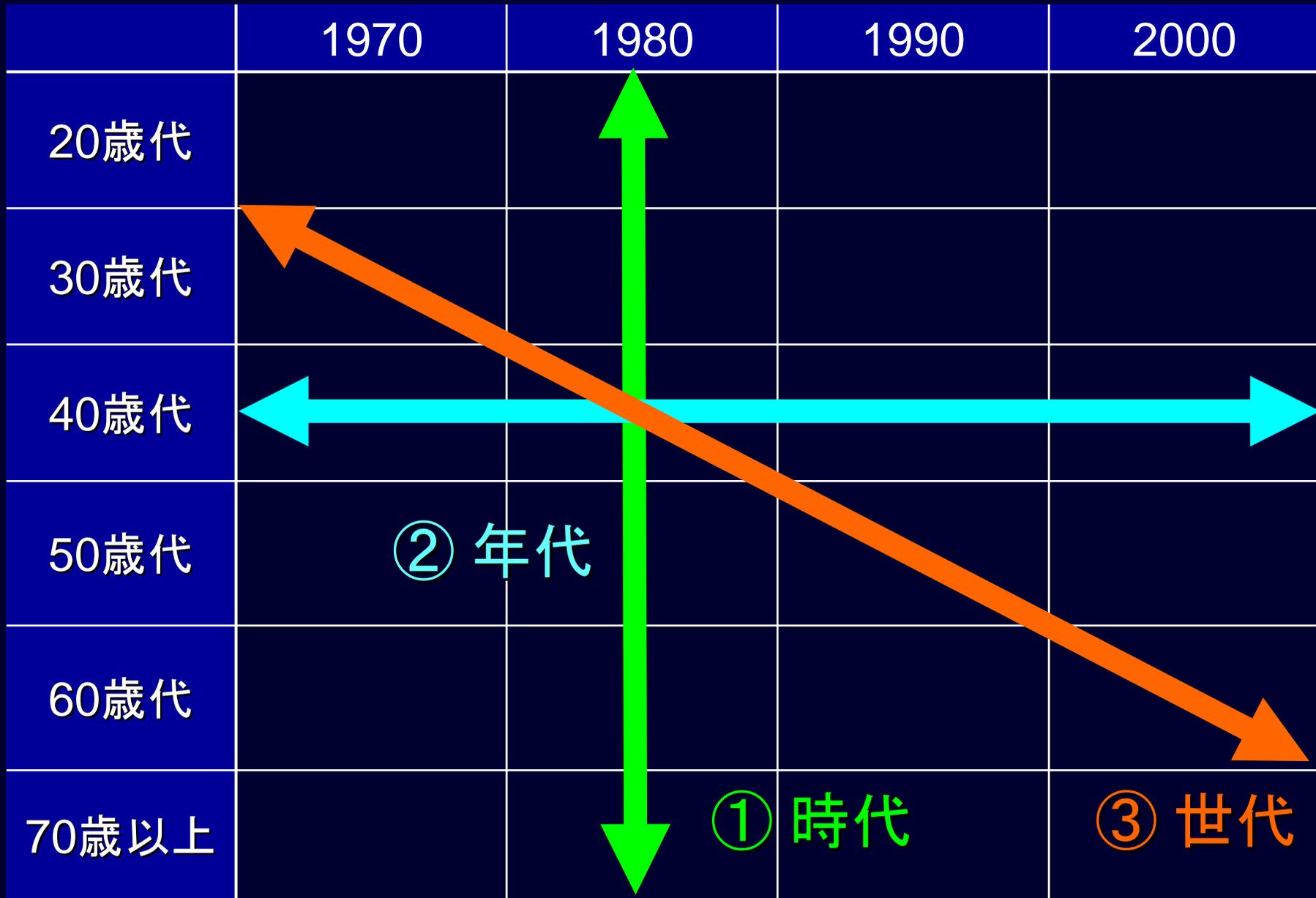
本分析では、1979, 1990, 2000年の
調査結果を使用

	1970	1980	1990	2000
20歳代			[Redacted]	↑
30歳代				
40歳代				
各 時代 おける 年代（年齢層）の 差				
60歳代			[Redacted]	↓
70歳以上				

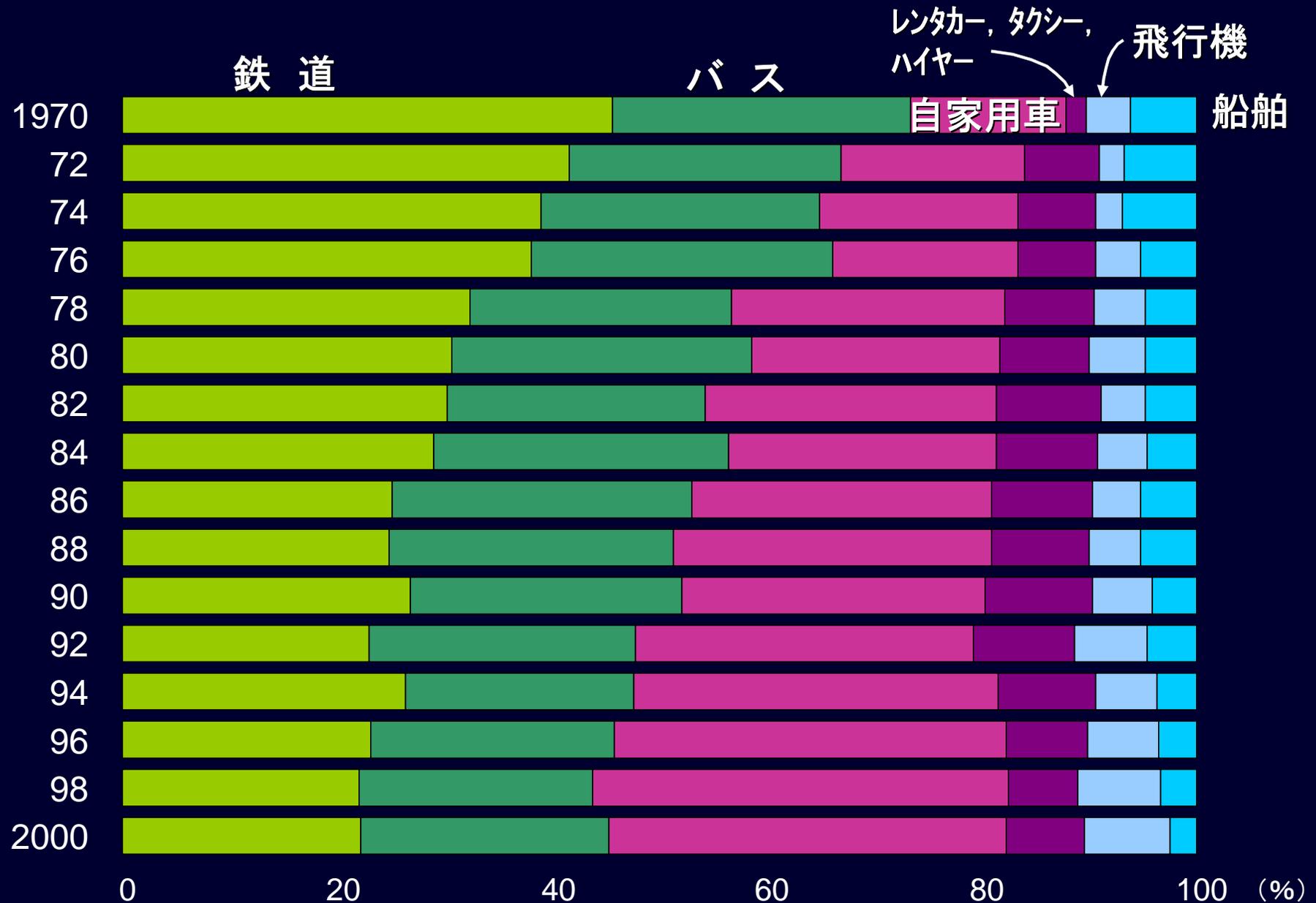
	1970	1980	1990	2000
20歳代				
各年代の時代（時系列）変化				
40歳代				
50歳代				
60歳代				
70歳以上				



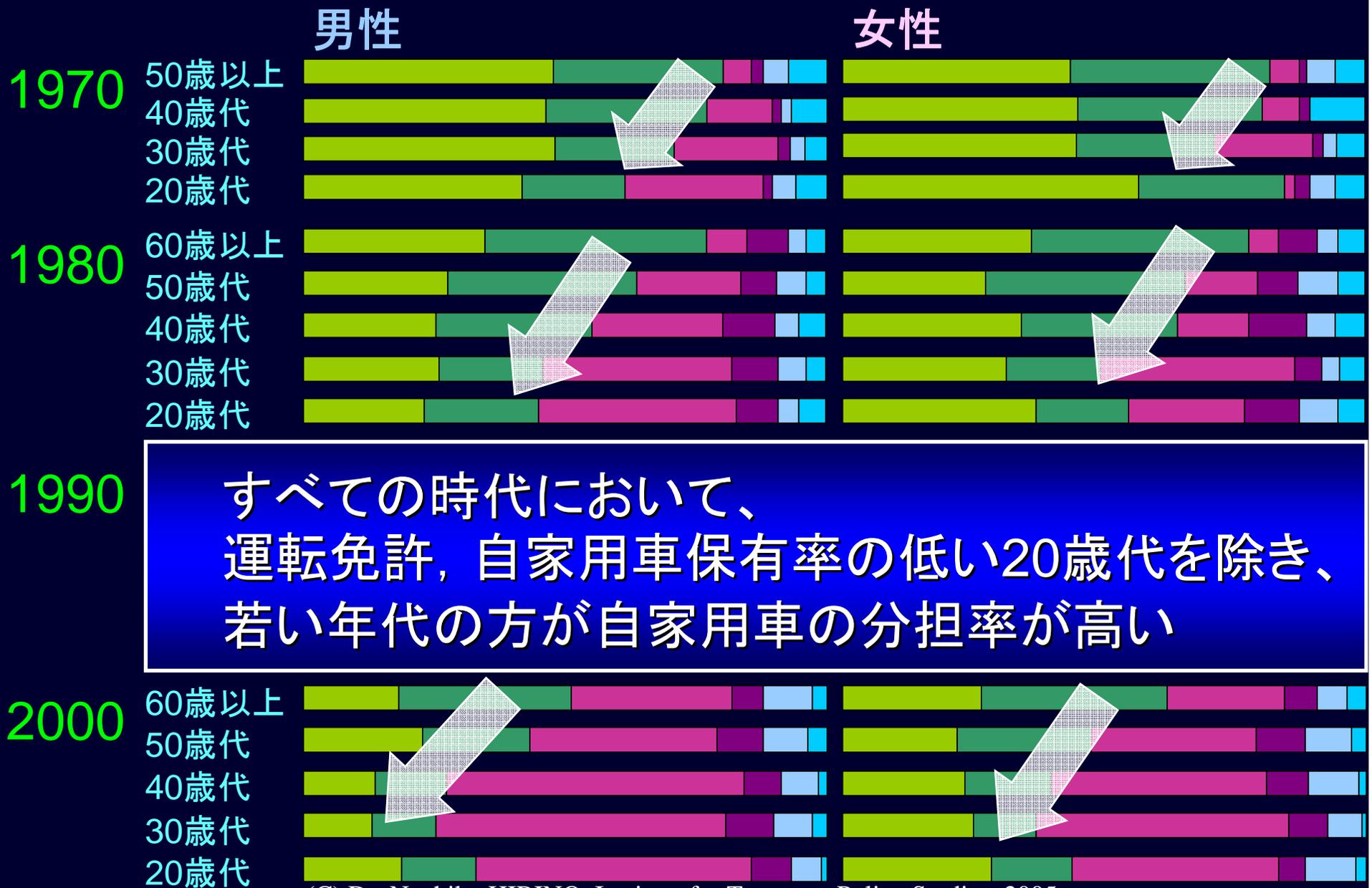
各世代の時代・年代（時系列）変化



宿泊観光旅行の交通機関分担の推移

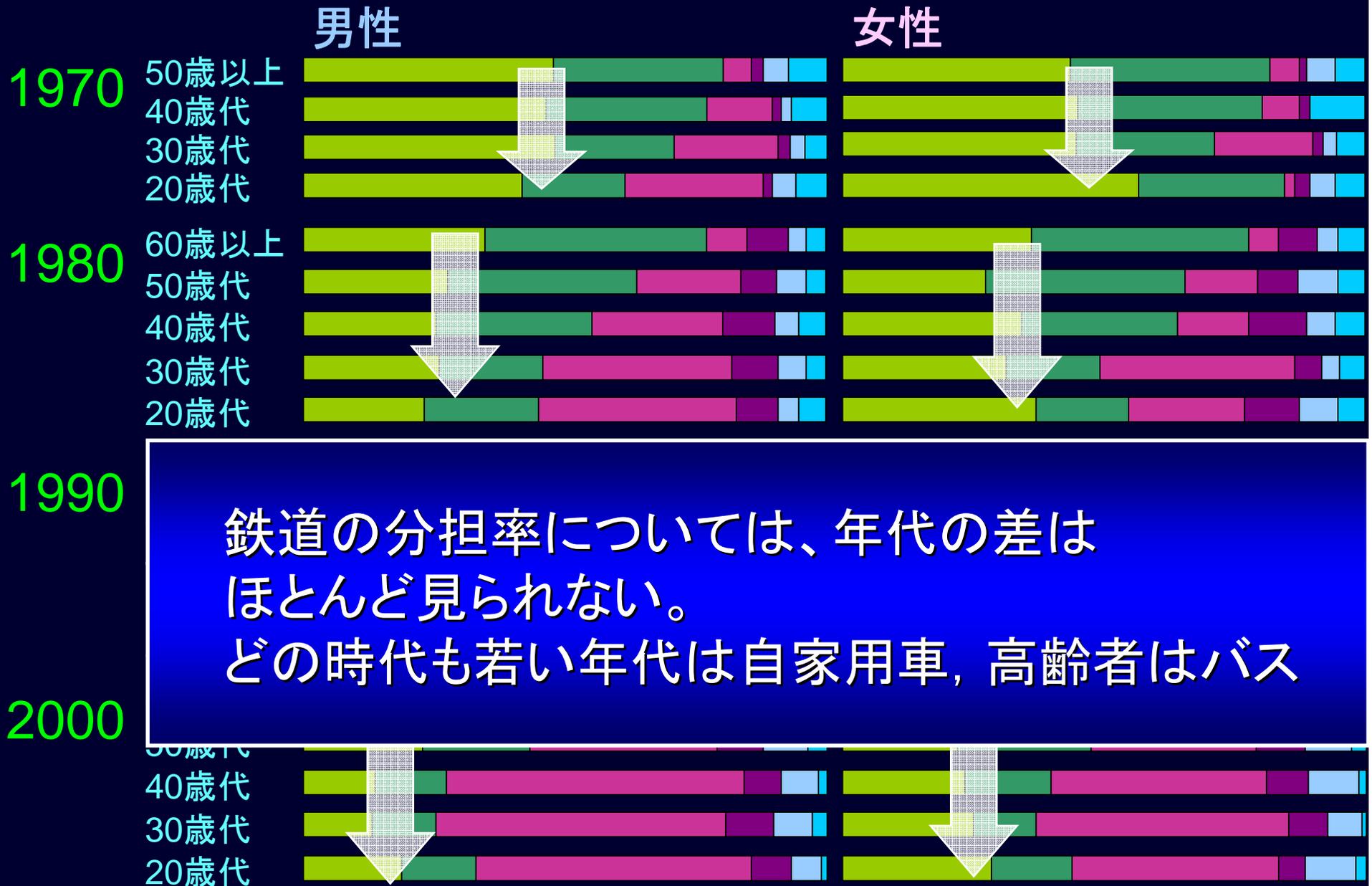


宿泊観光交通機関分担（時代）



すべての時代において、
 運転免許、自家用車保有率の低い20歳代を除き、
 若い年代の方が自家用車の分担率が高い

宿泊観光交通機関分担 (時代)



鉄道の分担率については、年代の差はほとんど見られない。
どの時代も若い年代は自家用車，高齢者はバス

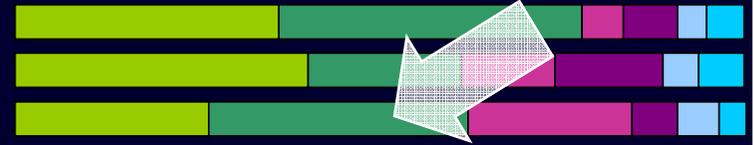
宿泊観光交通機関分担 (年代)

男性

女性

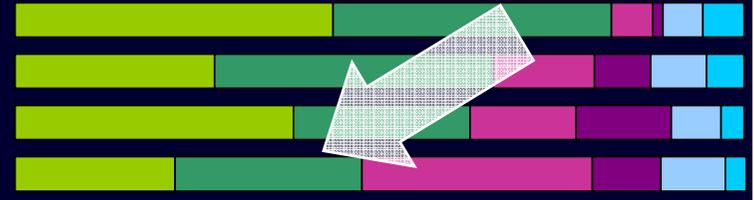
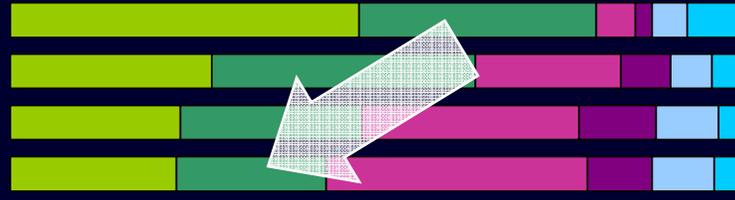
60歳以上

1980
1990
2000



50歳代

1970
1980
1990
2000



40歳代

1970
1980
1990
2000

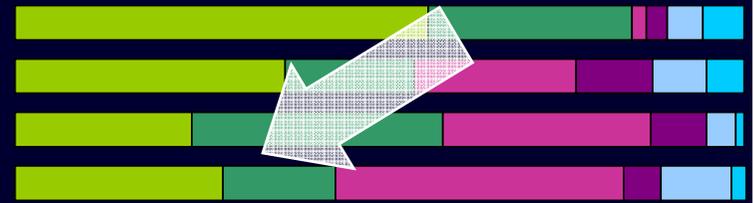
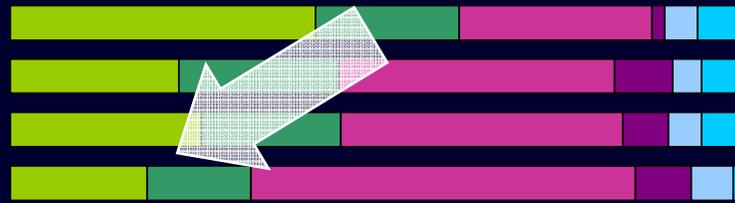
全体傾向と同様
どの年代においても時代とともに
鉄道が減少，自家用車が増加

30歳代

1970
1980
1990
2000

20歳代

1970
1980
1990
2000

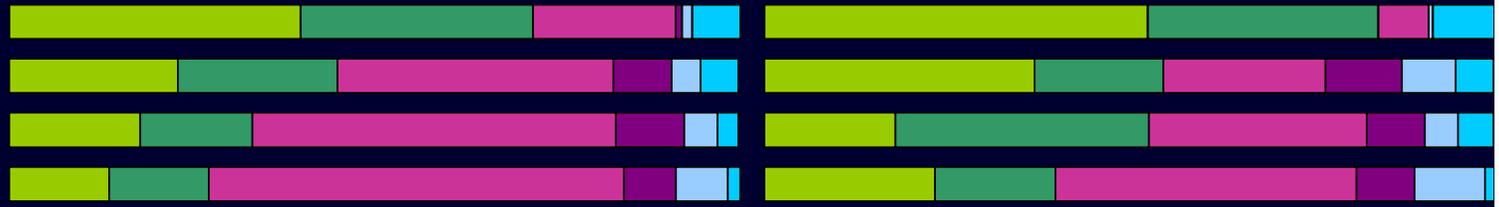


宿泊観光交通機関分担 (世代)

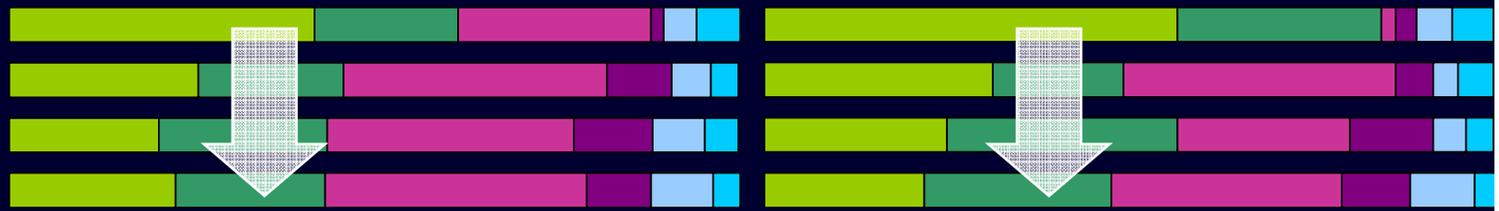
男性

女性

1970 18・19歳
1980 20歳代
1990 30歳代
2000 40歳代



1970 20歳代
1980 30歳代
1990 40歳代
2000 50歳代



1970 30歳代
1980 40歳代
1990 50歳代
2000 60歳代

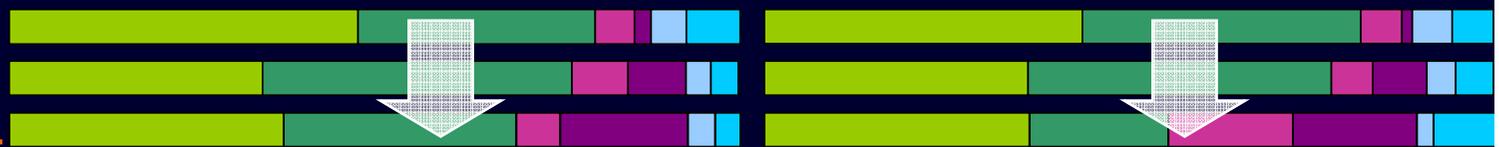
多くの世代で30歳代以降の
分担率の変化が小さい

各世代の特徴

1970 40歳代
1980 50歳代
1990 60歳代
2000 70歳以上

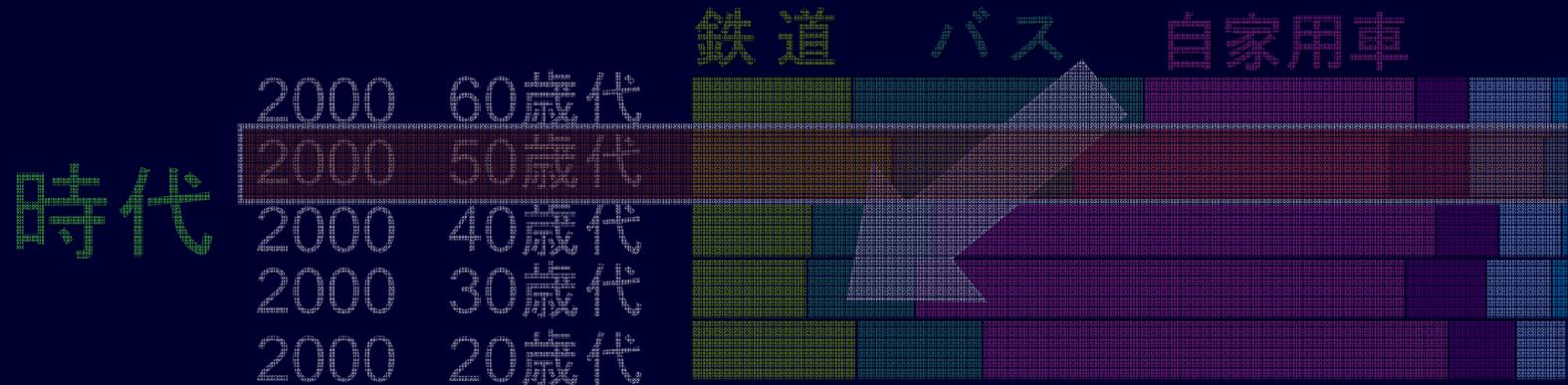


1970 50歳代
1980 60歳代
1990 70歳以上

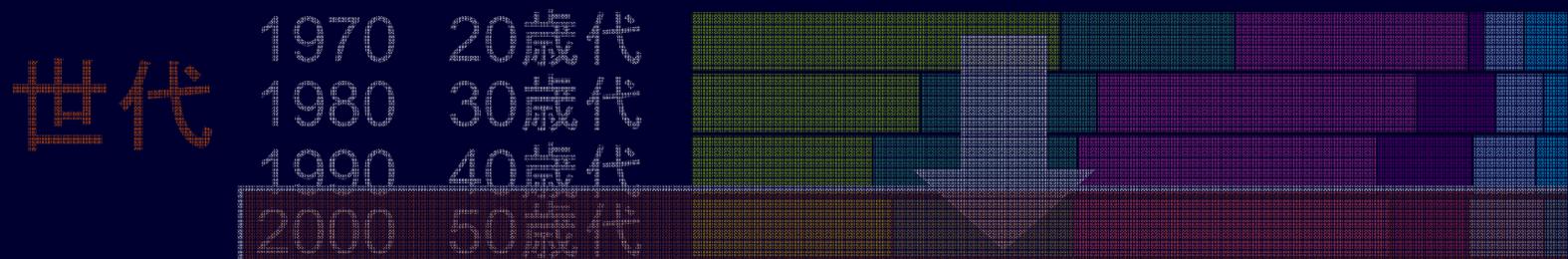


世代による観光行動の特徴

団塊の世代(2000年・50歳代)男性の場合



交通機関選択は世代の影響が強く
利用交通機関の変化は少ない



観光旅行の宿泊数

観光旅行の
宿泊数

■ 1泊

■ 2泊

■ 3泊

■ 4泊以上

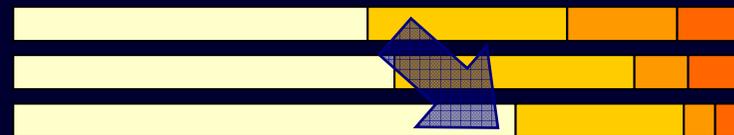
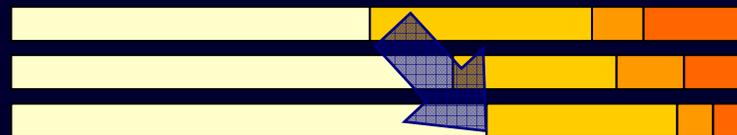
観光旅行の宿泊数 (年代)

男性

女性

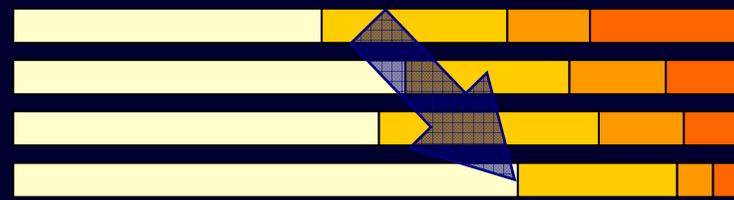
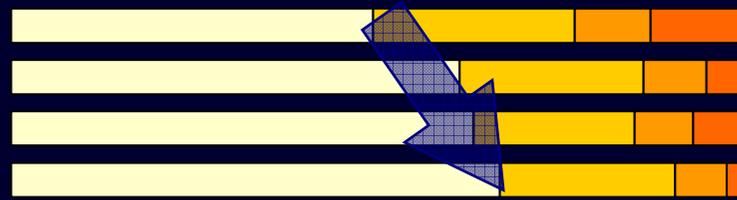
60歳代

1980
1990
2000



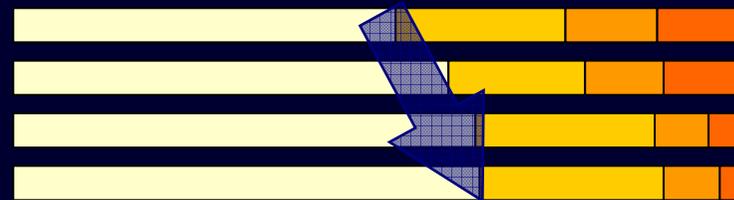
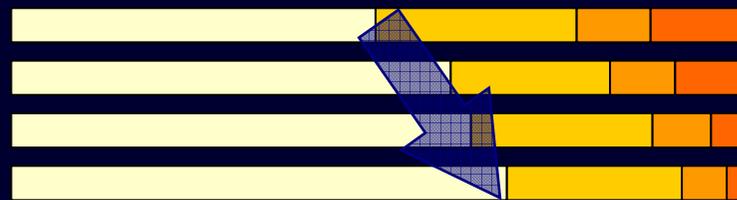
50歳代

1970
1980
1990
2000



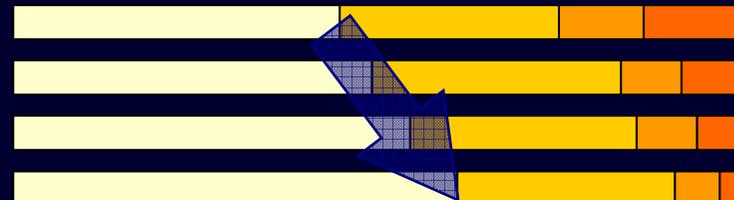
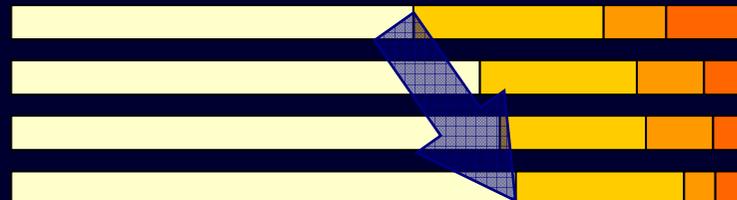
40歳代

1970
1980
1990
2000



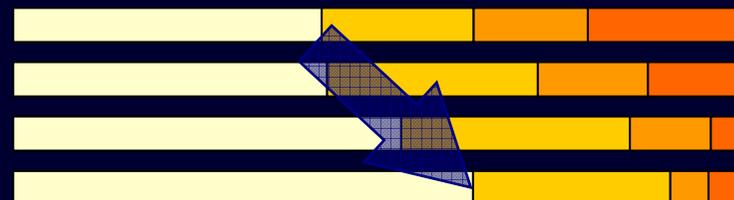
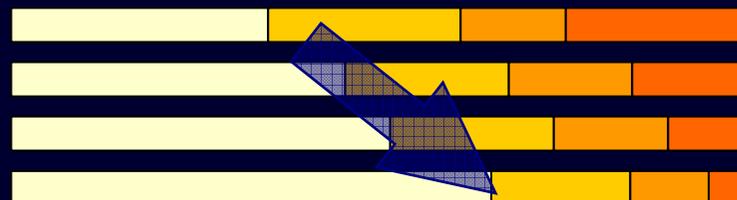
30歳代

1970
1980
1990
2000



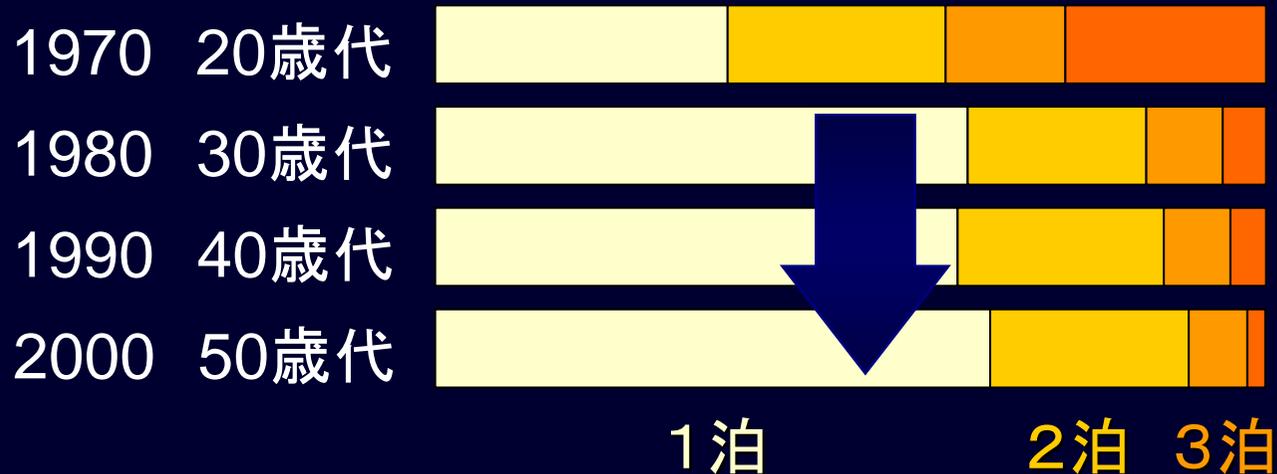
20歳代

1970
1980
1990
2000



世代の特徴（観光旅行の宿泊数）

団塊の世代(2000年・50歳代)男性の場合



宿泊数減少傾向の中
時代による変化が小さい

宿泊観光旅行の費用

宿泊観光
旅行の費用

- 5,000円 未満
- 10,000円 未満
- 15,000円 未満
- 20,000円 未満
- 30,000円 未満
- 40,000円 未満
- 50,000円 未満
- 50,000円 以上

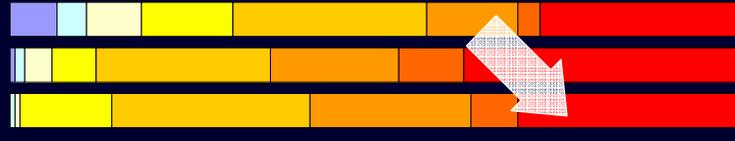
宿泊観光旅行の費用 (年代)

男性

女性

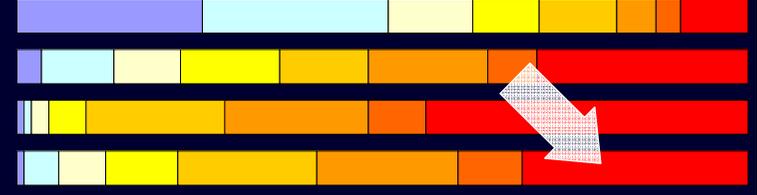
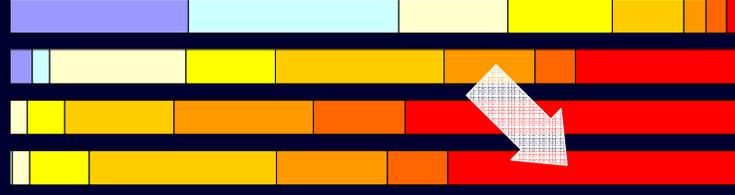
60歳代

1980
1990
2000



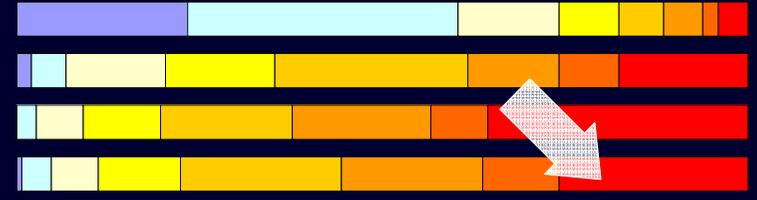
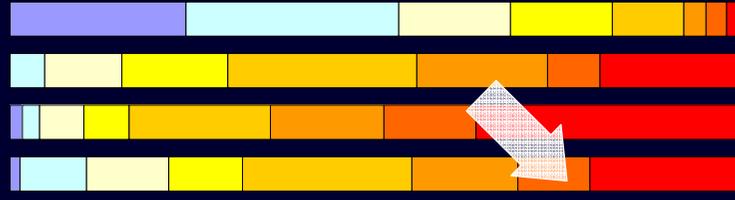
50歳代

1970
1980
1990
2000



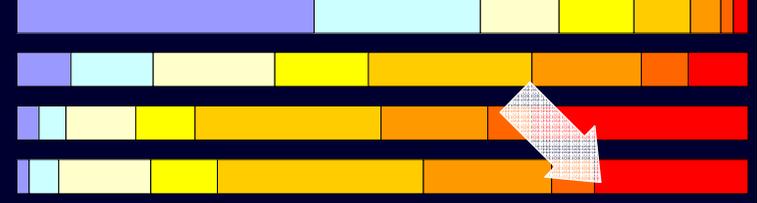
40歳代

1970
1980
1990
2000



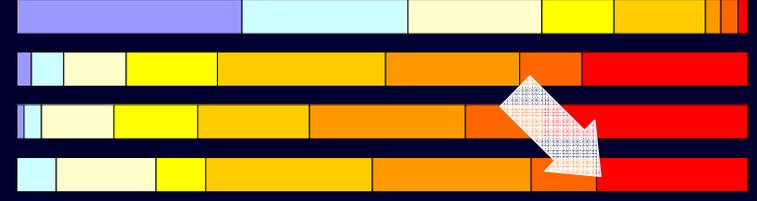
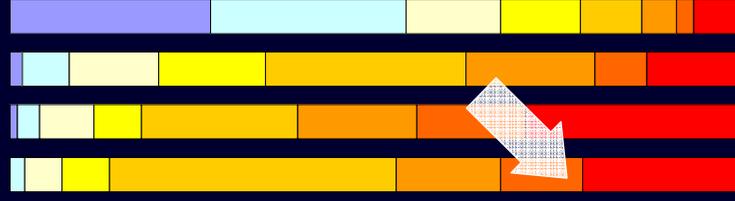
30歳代

1970
1980
1990
2000



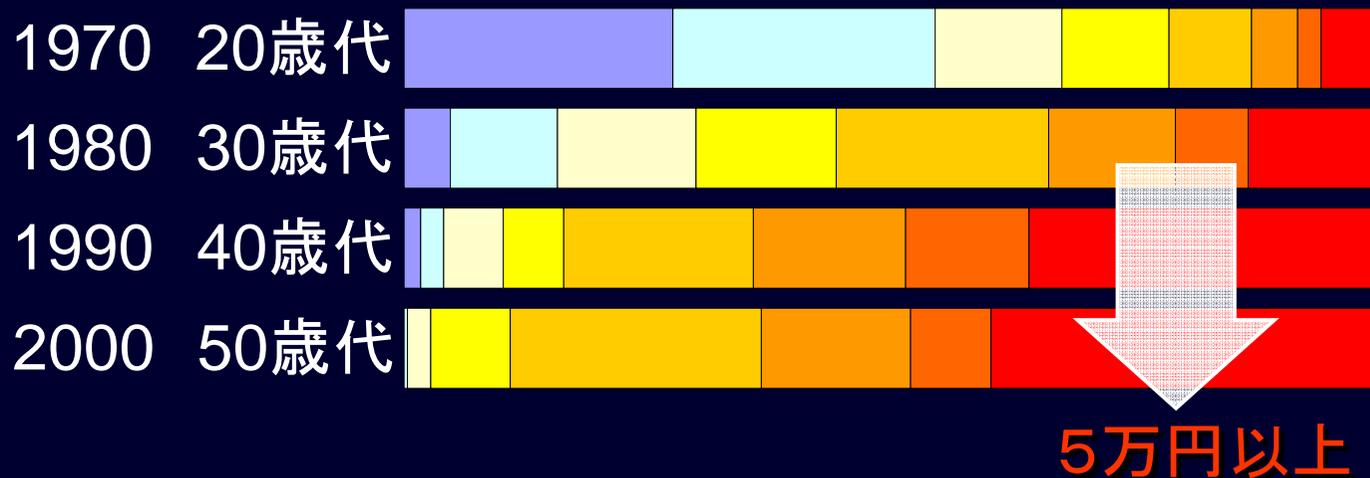
20歳代

1970
1980
1990
2000



世代の特徴（宿泊観光旅行の費用）

団塊の世代(2000年・50歳代)男性の場合



今後も高級志向!?

観光旅行の目的, 活動

- 宿泊観光旅行の主な目的
- 余暇活動の中で増加している
 - 宿泊温泉旅行の参加者数
 - 登山の参加者数

宿泊観光旅行の目的

宿泊観光旅行の 主な目的

- 慰安旅行
- スポーツ
- 趣味・研究
- 見物・行楽
- 神仏詣
- 休養（湯治，避暑，避寒）
- その他（新婚旅行，祭，イベント，
博覧会，交流 etc.）

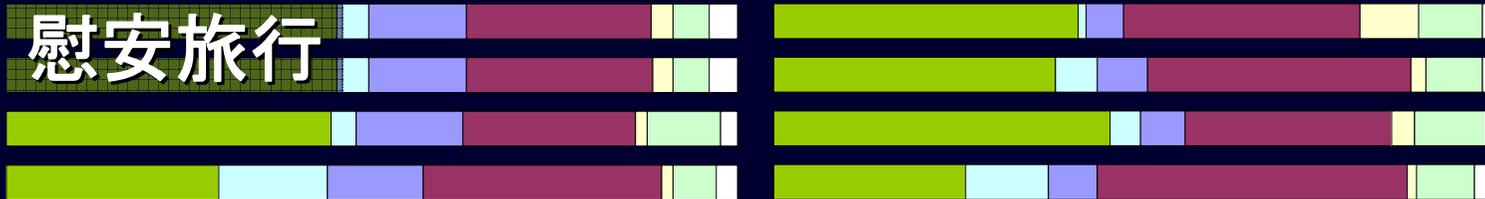
宿泊観光旅行の目的 (時代)

男性

女性

1970 50歳以上
40歳代
30歳代
20歳代

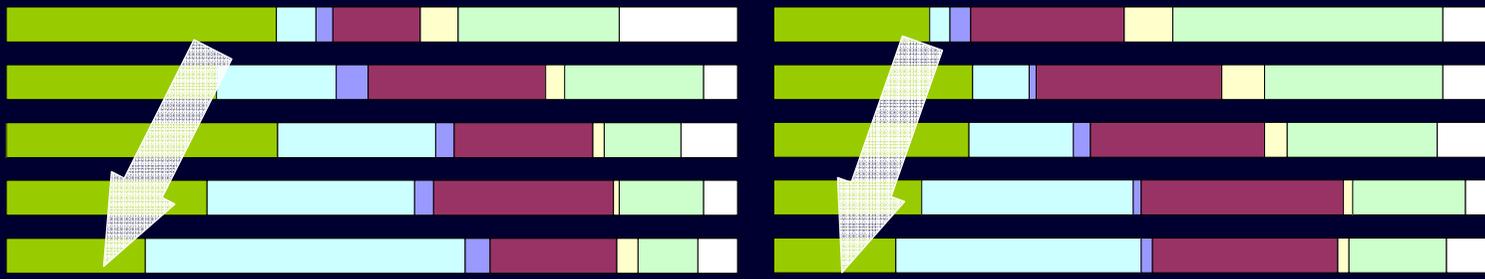
慰安旅行



1980 60歳代
50歳代
40歳代
30歳代
20歳代

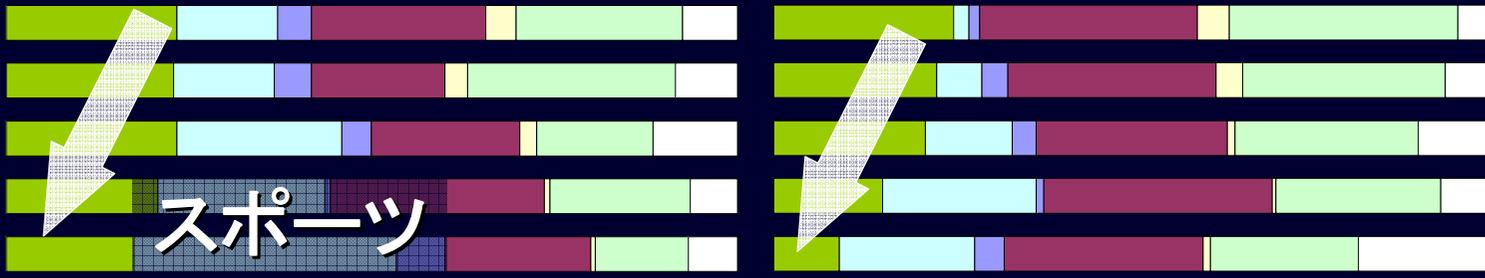
若い年代は、
慰安旅行が少なく、スポーツが多い

1990 60歳代
50歳代
40歳代
30歳代
20歳代



2000 60歳代
50歳代
40歳代
30歳代
20歳代

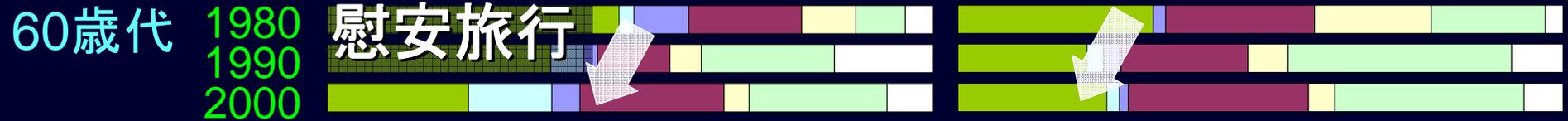
スポーツ



宿泊観光旅行の目的（年代）

男性

女性



50歳代 1970
1980
1990
2000

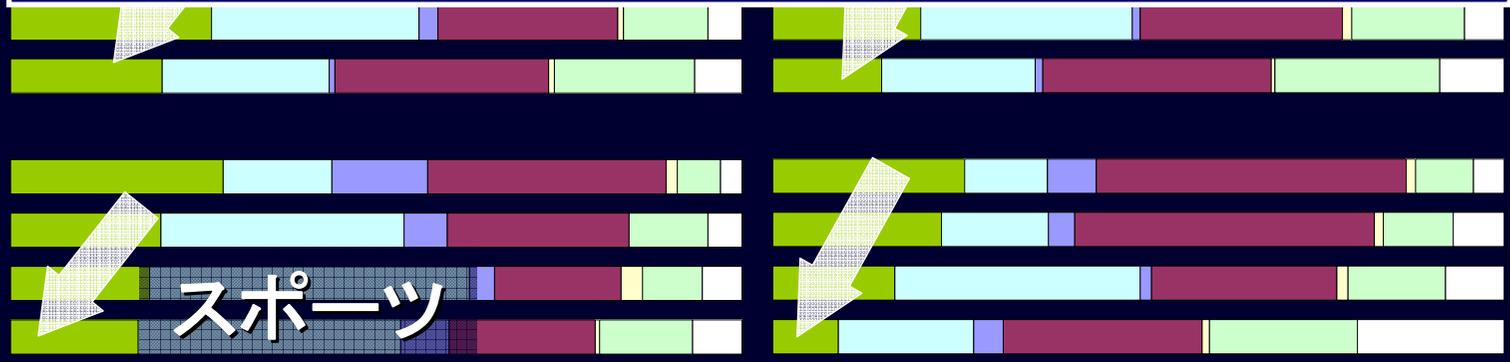
どの年代も、時代とともに、
慰安旅行が減少、スポーツが増加

1970年の20歳代男性から始まった
この傾向が、時代とともにすべての
年代に広がっていった

40歳代 1970
1980
1990
2000

30歳代 1970
1980
1990
2000

20歳代 1970
1980
1990
2000

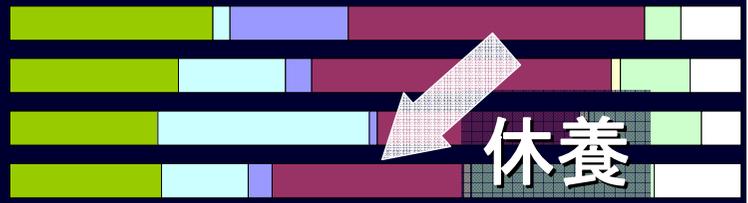
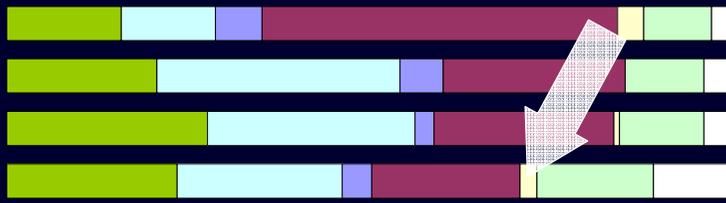


宿泊観光旅行の目的 (世代)

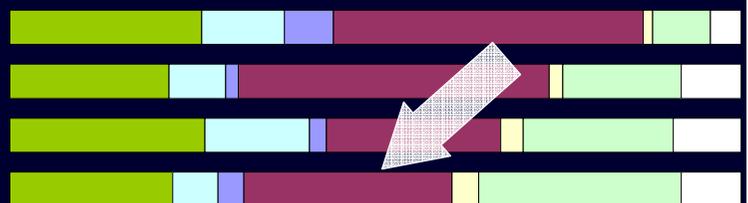
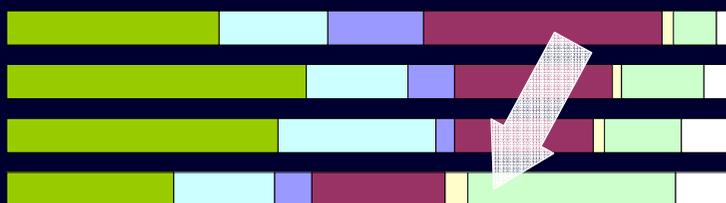
男性

女性

1970 18・19歳
1980 20歳代
1990 30歳代
2000 40歳代



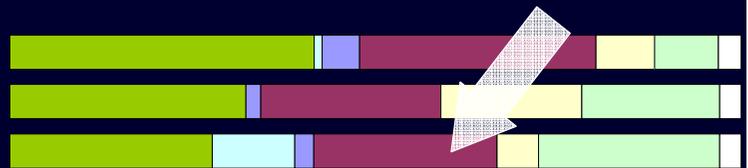
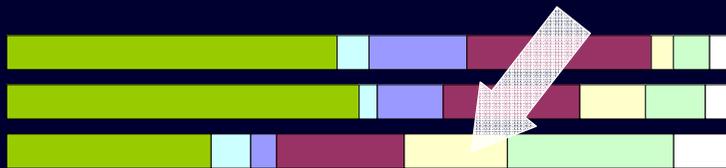
1970 20歳代
1980 30歳代
1990 40歳代
2000 50歳代



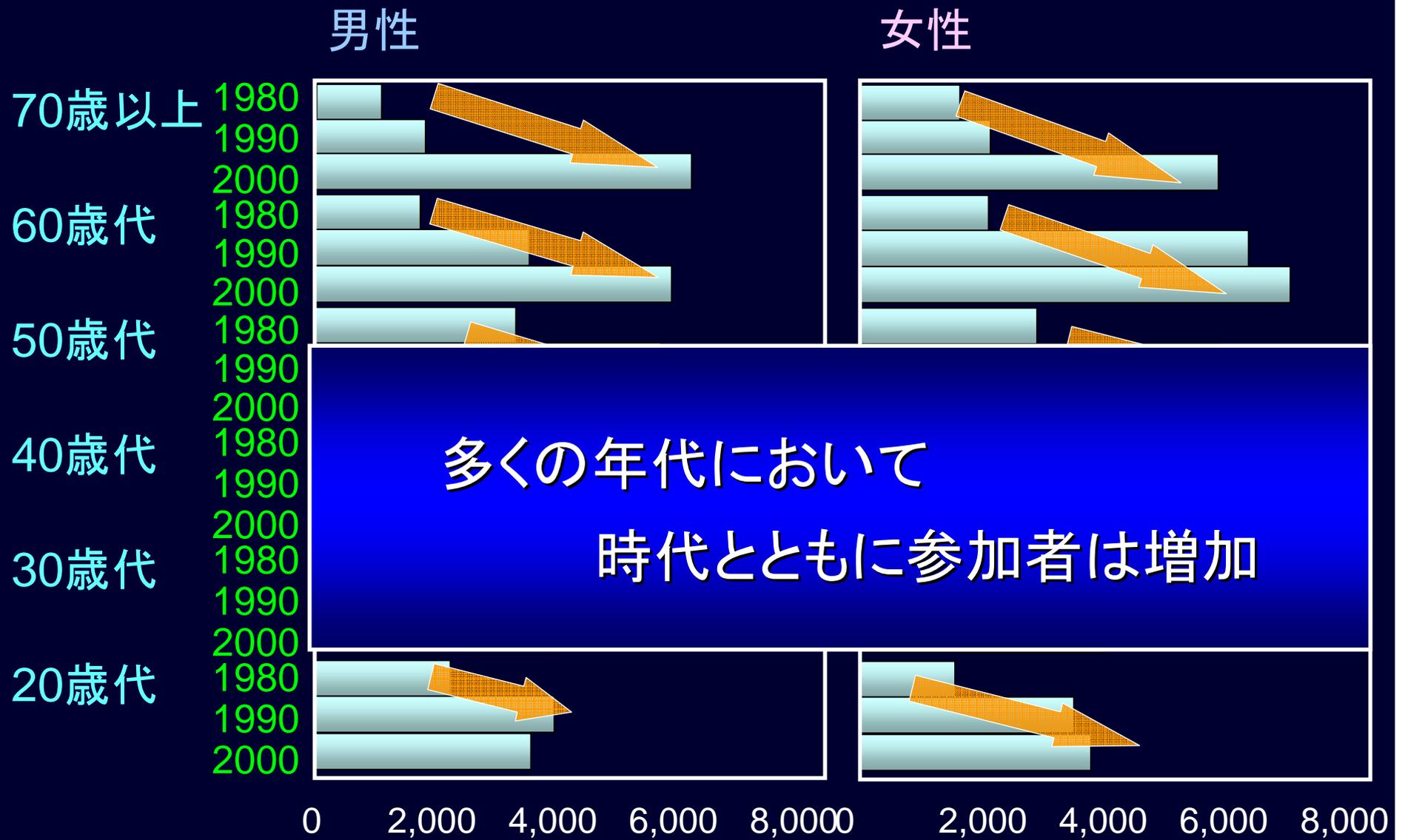
1970 30歳代
1980 40歳代
1990 50歳代
2000 60歳代

すべての世代で加齢とともに
休養(湯治, 避寒, 避暑)が増加

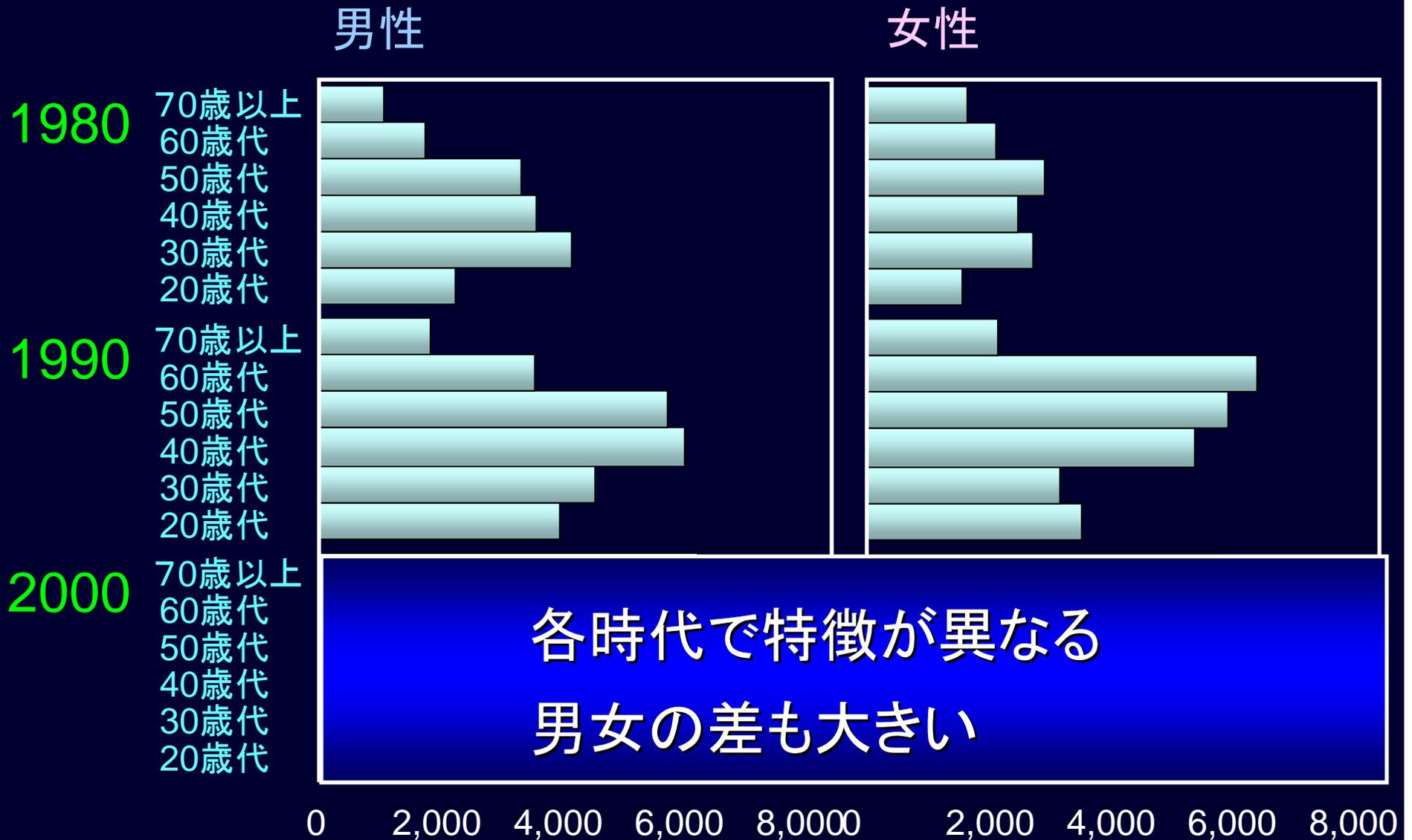
1970 40歳代
1980 50歳代
1990 60歳代
2000 70歳以上



宿泊温泉旅行の参加者数（年代）



宿泊温泉旅行の参加者数（時代）



各時代で特徴が異なる
男女の差も大きい

宿泊温泉旅行の参加者数 (世代)



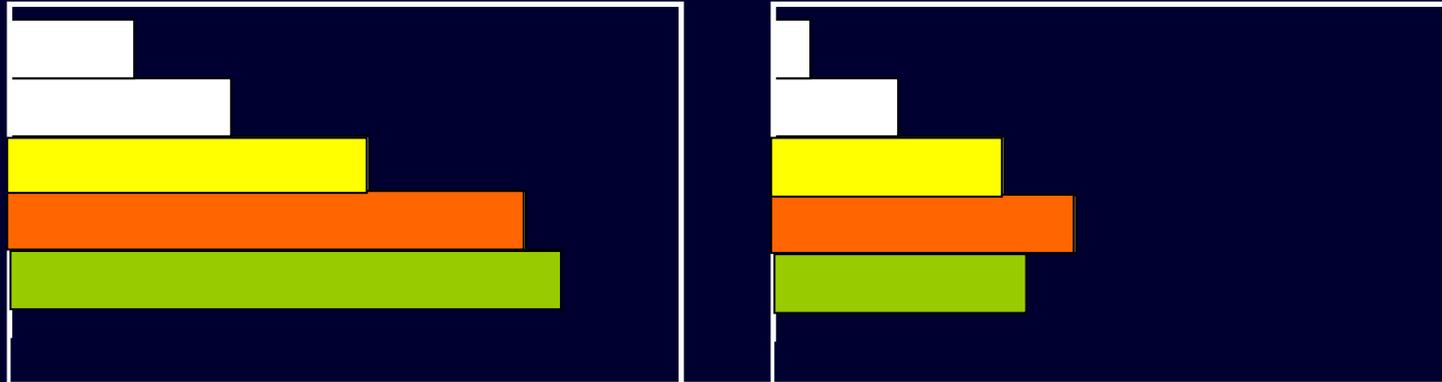
登山の参加者数 (世代)

男性

女性

1979

60歳以上
50歳代
40歳代
30歳代
20歳代



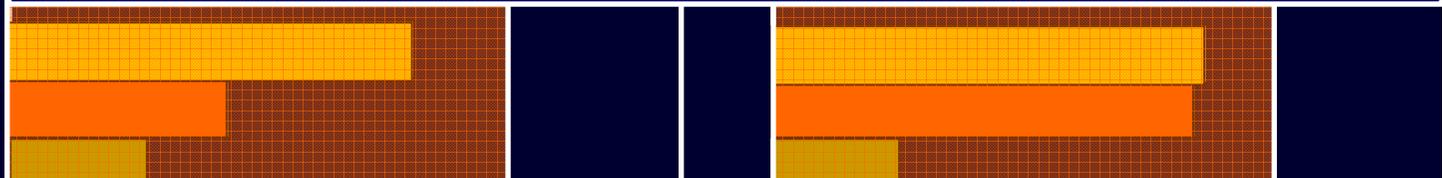
1990

60歳以上
50歳代
40歳代
30歳代
20歳代

団塊の世代(女性)の参加者が増加

2000

60歳以上
50歳代
40歳代
30歳代
20歳代



過去に多く経験した世代だけが多い

1. 背景と目的
2. 1970年以降の観光動向
3. 観光行動の性年齢層別時系列分析
4. まとめ

まとめ

1970～2000年までの国内宿泊観光旅行の動向

- ・ 余暇時間が増加したからといって、宿泊観光旅行者数が増加するとは限らない
- ・ 大都市圏近郊の観光地へ自動車で移動する旅行者は増加
- ・ 地方の観光地は、安心できない状況

時代, 年代, 世代の視点



団塊の世代(男性)の特徴

- 今までと同様の交通機関を利用
- 宿泊数は現状のまま、高級志向の旅行

団塊の世代(女性)の特徴

- 宿泊温泉旅行, 登山で参加者を増加

一例として...

宿泊温泉旅行

多くの年代で参加者が増えている

→ 多くの年代に対するサービス, 施策

増えているのは、一部の層だけ！

→ 団塊の世代(女性)への重点的なサービス

詳細なマーケティング, 観光施策の検討へ

今後の課題

時代, 年代, 世代の観光行動への影響を分析

マーケティング分析と関連付け



分析結果を踏まえ、

今後の観光施策の検討に向けた提言

ご清聴ありがとうございました